

ISSN 2188-0786

# 令和6年度 地下鉄事業の現況



一般社団法人 日本地下鉄協会



# 目 次

	頁	
東京地下鉄株式会社	1	(路線図 9)
大阪市高速電気軌道株式会社	11	(路線図 19)
札幌市	21	(路線図 27)
仙台市	29	(路線図 35)
東京都	37	(路線図 43)
横浜市	45	(路線図 51)
名古屋市	53	(路線図 59)
京都市	61	(路線図 67)
神戸市	69	(路線図 75)
福岡市	77	(路線図 83)
埼玉高速鉄道株式会社	85	(路線図 91)
広島高速交通株式会社	93	(路線図 99)
横浜高速鉄道株式会社	101	(路線図 107)
東葉高速鉄道株式会社	109	(路線図 115)
北総鉄道株式会社	117	(路線図 123)
地下鉄関係等国の予算	125	
資 料	135	

(注)

1. この「地下鉄事業の現況(令和6年度)」は、東京地下鉄(株)・大阪市高速電気軌道(株)・公営地下鉄事業者等・国土交通省・総務省の資料を基に編集したものです。

# 東京地下鉄株式会社

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源			
									企業債	出資金	その他	
銀座線 浅草～渋谷	キロ 14.3		昭和14年9月全通			-	-	-	-	-	-	
丸ノ内線 池袋～荻窪 中野坂上～方南町	27.4	482	昭和37年3月全通			-	482	18	-	-	-	
日比谷線 北千住～中目黒	21.1	671	昭和39年8月全通			-	671	32	-	-	-	
東西線 中野～西船橋	31.8	1,319	昭和44年3月全通			-	1,319	41	-	-	-	
千代田線 北綾瀬～代々木上原	23.0	1,592	昭和54年12月全通			-	1,592	69	-	-	-	
有楽町線	和光市～新木場	29.4	4,920	昭和63年6月開通			-	4,920	167	-	-	-
	豊洲～住吉	4.8	-	非公表			非公表	約2,690	560	非公表	非公表	非公表
半蔵門線 渋谷～押上	17.0	4,338	平成15年3月全通			-	4,338	255	-	-	-	
南北線	目黒～赤羽岩淵	21.4	5,376	平成12年9月開通			-	5,604	262	-	-	-
	品川～白金高輪	2.5	-	非公表			非公表	約1,310	524	非公表	非公表	非公表
副都心線 小竹向原～渋谷	8.9	2,517	平成20年6月全通			-	2,517	282	-	-	-	
合計	201.6	21,215					21,443	-	-	-	-	

(注)1. 副都心線建設費総額には、道路特定財源を含む。

(注)2. 建設費総額の合計には、新線は含まない。

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-(1)新線

路線名	予算額 百万円	事業内容	免・特許年月日	施行認可年月日
有楽町線	非公表	非公表	令和4年3月28日	-
南北線	非公表	非公表	令和4年3月28日	-
合計	4,000			

### 2-(2)営業線

(税抜き)

項目	予算額 百万円	事業内容
旅客サービス	36,200	バリアフリー設備整備、駅設備の整備等
安全対策	32,900	信号保安装置改良、ホームドア整備等
その他	36,900	輸送改善等
合計	106,000	

## 2-(3) 建設計画

### 【建設線】

(単位: 億万円)

区分 路線名	有 楽 町 線	南 北 線
区 間	豊 洲 ~ 住 吉	品 川 ~ 白 金 高 輪
建 設 キ 口	4.8 キ口	2.5 キ口
着 工 年 度	未 定	未 定
開 通 年 度	2030年代半ば	2030年代半ば
建 設 費	約2,690	約1,310
キ 口 当 り 費	約560	約524

### ◎工事路線の略図



## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成車両数	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均	年間	年間	1日平均		
令和元年度	195.0	26.4	9	179 (142)	2,716	2,765,003	7,555	22,286	346,542,763	946,838	10	
令和2年度	195.0	26.4	9	180 (143)	2,750	1,819,488	4,985	14,944	223,928,658	613,503	10	
令和3年度	195.0	26.4	9	180 (143)	2,736	1,903,783	5,216	15,601	245,092,605	671,487	10	
令和4年度	195.0	26.4	9	180 (143)	2,722	2,171,910	5,950	17,673	281,364,993	770,862	10	
令和5年度	195.0	26.4	9	180 (143)	2,724	2,384,731	6,516	19,305	324,009,327	885,271	10	
令和6年度定	195.0	26.4	9	180 (143)	2,682	-	-	-	-	-	10	

(注):( )内は同一駅名を1駅とした場合の駅数(他鉄道委託駅を含む)

## 4. 相互乗入れ運転

(令和6年4月1日現在)

相互(片)乗入事業	乗入者		乗入キロ数	
	自社線内	他社線内	乗入キロ数	乗入キロ数
日比谷線	東武鉄道		20.3	44.4
		東武鉄道		
東西線	JR(中央線)		30.8	9.4
	JR(総武線)		30.8	6.1
	東葉高速鉄道		30.8	16.2
千代田線	JR(常磐線)		21.9	29.7
	小田急電鉄		24.0	59.3
有楽町線	西武鉄道		20.0	40.3
	東武鉄道		28.3	40.1
半蔵門線	東急電鉄		16.8	31.5
	東武鉄道		16.8	56.9
南北線	東急電鉄		21.3	17.7
	埼玉高速鉄道		21.3	14.6
副都心線	西武鉄道		11.9	40.3
	東武鉄道		20.2	51.6
	東急電鉄		20.2	24.2
	横浜高速鉄道		20.2	4.1
合計		-	361.6	

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分	年度			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度見込	
受変電圧(KV)	60/22/6	60/22/6	60/22/6	
受電箇所数	54	55	55	
使用電力量(MWH)	電車用	524,681	527,481	528,340
	付帯用	340,678	345,536	349,545
	計	865,359	873,017	877,885
電気料金(百万円)	-	-	-	

(表4注)【相互乗入れ運転】

他社線内乗入れキロ数合計については、東武スカイツリーライン  
 経由日光線北千住～南栗橋間、東武東上線と光市～森林公園  
 間、西武有楽町線・池袋線小竹向原～飯能間は、東京メトロの複数  
 路線が乗り入れているため、重複区間を除き算出。

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

項目	年度		
	令和5年度	令和6年度見込	
エスカレーター	1,028箇所	1,039箇所	
エレベーター	405箇所	410箇所	
身障者用	トイレ	204箇所	206箇所
	点字券売機	1,007箇所	1,008箇所
	斜路	51箇所 28駅	53箇所 28駅
	チャイム等	338箇所 1,028	350箇所 1,039
その他	-	-	
基準適合段差解消駅	139駅	139駅	
自転車置場	設置駅数	17駅	17駅
	収容台数	17,541台	17,541台

(注)

- 鉄道委託駅を含む
- チャイム等は音声案内装置付エスカレーター一台数(音声案内付台数/エスカレーター総数)
- 自転車置き場については、自治体による近隣施設の数
- 「基準適合段差解消駅」とは、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」第8条第1項に基づく公共交通移動等円滑化基準第4条に適合し、開閉とびらに窓があり、かご内に手すり等が設置されているエレベーターなどにより、乗降場ごとに、段差が解消された経路を1以上確保している駅をいう。

## 7. 営業線の概要

線名		銀座線		丸ノ内線		日比谷線			東西線		千代田線					
項目																
線区概要	営業区間	浅草～渋谷		池袋～荻窪		中野坂上～方南町			北千住～中目黒		中野～西船橋		北綾瀬～綾瀬		綾瀬～代々木上原	
	営業キロ(km)	14.2		24.2		3.2			20.3		30.8		2.1		21.9	
	(地上部)	(0.2)		(2.2)		(0)			(2.9)		(13.8)		(2.1)		(2.9)	
	駅数(駅)	19		25		3			22		23		1		19	
ホームドア(柵)設置駅数(駅)	19		25		3			22		12		1		19		
軌間・電気	軌間(m)	1.435		1.435		1.067			1.067		1.067					
	電気方式(V)	直流600		直流600		直流1,500			直流1,500		直流1,500					
	集電方式	サードレール		サードレール		架空線			架空線		架空線					
車両	保有車両(車両)	240		318		308			520		398					
	(電動車両)	(240)		(263)		(308)			(234)		(166)					
	車両長(m)	16		18		20			20		20					
	定員(人)	93,106		122,124,136,137		140,151			139,141,142,143,146,152,153,154,155		136,142,143,144,154					
保安装置	ATS・ATC	連続誘導式CS-ATC		連続誘導式CS-ATC		連続誘導式CS-ATC			連続誘導式CS-ATC		連続誘導式CS-ATC					
	列車通信	空間波無線式		誘導無線式 空間波無線式		空間波無線式			誘導無線式 空間波無線式		空間波無線式					
運転概要	編成両数(両)	6		6		7			10		3・10		10			
	運転間隔(分・秒)	浅草 ↕ 上野	上野 ↕ 渋谷	池袋 ↕ 中野坂上	中野坂上 ↕ 荻窪	中野坂上 ↕ 方南町	北千住 ↕ 霞ヶ関	霞ヶ関 ↕ 六本木	六本木 ↕ 中目黒	中野 ↕ 東陽町	東陽町 ↕ 西船橋	北綾瀬 ↕ 綾瀬	綾瀬 ↕ 霞ヶ関	霞ヶ関 ↕ 明治神宮前	明治神宮前 ↕ 代々木上原	
	(平日)															
	朝混雑時	2.30	2.20	2.05	3.10	5.30	2.15		2.40	2.40	通勤 6.00 普通 3.35	7.30	2.05		2.40	
	昼間時	4.00		5.00	6.00	8.35	5.00			5.00	快速 15.00 普通 7.30	10.00	5.00			
	夕混雑時	2.25		2.30	3.20	6.40	2.30			3.00	快速 10.00 普通 4.40	7.30	3.00	3.20	4.00	
	運転所要時間(分・秒)	33.00		49.40		6.25	45.00			快速 44.15 普通 52.10		4.00	39.30			
平均速度(km/h)	34.1		37.2		34.9	33.9			快速 49.4 普通 43.7	31.5	42.2					
表定速度(km/h)	25.8		29.2		29.9	27.1			快速 41.8 普通 35.4	31.5	34.4					
最高速度(km/h)	65.0		75.0		65.0	80.0			快速 100.0 普通 100.0	60.0	80.0					
令和5年度1日当り平均輸送人員(千人)	930		1,220			1,074			1,250		1,130					
令和5年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)	1,232		2,232			2,077			4,014		3,026					

(令和6年4月1日現在)

## 7. 営業線の概要

項目		有楽町線			副都心線				半蔵門線		南北線			
線区概要	営業区間	和光市～新木場			小竹向原～渋谷				渋谷～押上		目黒～赤羽岩淵			
	営業キロ(km)	28.3			11.9				16.8		21.3			
	(地上部)	(2.3)			(0)				(0)		(0)			
	駅数(駅)	24			11				14		19			
軌間・電気	ホームドア(柵)設置駅数(駅)	24			11				11		19			
	軌間(m)	1,067			1,067				1,067		1,067			
	電気方式(V)	直流1,500			直流1,500				直流1,500		直流1,500			
車両	集電方式	架空線			架空線				架空線		架空線			
	保有車両(車両)	550			550				250		140			
	(電動車両)	(269)			(269)				(114)		(82)			
	車両長(m)	20			20				20		20			
保安装置	定員(人)	136,143,144,154			136,141,142,144,150,152,153				136,141,142,144,150,152,153		140,141,150,151,152,153			
	ATS・ATC	連続誘導式CS-ATC			連続誘導式CS-ATC				連続誘導式CS-ATC		連続誘導式CS-ATC			
運転概要	列車通信	空間波無線式			空間波無線式				空間波無線式		空間波無線式			
	編成両数(両)	10			8・10				10		6・8			
	運転間隔(分・秒)	和光市 }	小竹向原 }	池袋 }	和光市 }	小竹向原 }	千川 }	池袋 }	新宿三丁目 }	渋谷 }	清澄白河 }	目黒 }	白金高輪 }	
	(平日)	小竹向原	池袋	新木場	小竹向原	千川	池袋	新宿三丁目	渋谷	清澄白河	押上	白金高輪	赤羽岩淵	
昼間時	朝混雑時	4.40	2.55	2.40	通急 15.00 各停 8.35	急行・通急 7.30 各停 6.40	急行・通急 7.30 各停 6.00	急行・通急 7.30 各停 3.45	2.15	3.20	自社 東京都	5.00 5.30	2.40	3.10
	昼間時	10.00	6.00		急行 30.00 各停 10.00	急行 15.00 各停 7.30	急行 15.00 各停 6.00		5.00		自社 東京都	10.00 10.00	5.00	6.00
	夕混雑時	6.00	4.20		通急 30.00 各停 8.35	急行・通急 15.00 各停 6.40		急行・通急 15.00 各停 5.00	3.00		自社 東京都	6.00 10.00	3.45	5.00
運転所要時間(分・秒)	51.10			急行 9.10 各停 12.10	急行 16.15 各停 22.25			31.30		39.15				
平均速度(km/h)	41.3			急行 54.3 各停 47.4				39.0		40.6				
表定速度(km/h)	33.2			急行 54.3 各停 40.9				32.0		32.6				
最高速度(km/h)	80.0			急行 80.0 各停 80.0				80.0		80.0				
令和5年度1日当り平均輸送人員(千人)	1,006			527				926		491				
令和5年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)	2,676			1,153				1,769		1,126				



DESIGNED by 株式会社

### メトロネットワーク Metro Network

東京メトロ

東京メトロ線	都営線
● 銀座線	● 浅草線
● 丸の内線	● 三田線
● 日比谷線	● 新線
● 東西線	● 大江戸線
● 千代田線	
● 有楽町線	
● 半蔵門線	
● 南北線	
● 副都心線	

● JR山手線  
 ● その他のJR線  
 ● 私鉄線  
 ● 東京さくらトラム(都電荒川線)  
 ● 日暮里-舎人ライナー  
 ● 駅/主要乗換駅  
 ● 東京地下鉄株式会社 ©2023.03

# 大阪市高速電気軌道株式会社

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当たり 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
御堂筋線	江坂～中百舌鳥	25.1	1,709	昭和62年4月18日全通			1,709	68	1,423	137	149
谷町線	大日～八尾南	28.4	2,736	昭和58年2月8日全通			2,736	96	2,435	235	66
四つ橋線	西梅田～住之江公園	11.6	479	昭和47年11月9日全通			479	41	438	12	29
中央線	大阪港～長田	15.5	1,001	昭和60年4月5日全通			1,001	65	875	58	68
千日前線	野田阪神～南巽	12.9	927	昭和56年12月2日全通			927	72	842	39	46
堺筋線	天神橋筋六丁目～動物園	7.7	442	昭和44年12月6日全通			442	57	406	0	36
	動物園前～天下茶屋	1.7	686	平成5年3月4日開通			686	404	500	100	86
長堀鶴見緑地線	京橋～鶴見緑地	5.6	1,108	平成2年3月20日開通			1,108	198	924	104	80
	心齋橋～京橋	5.5	1,524	平成8年12月11日開通			1,524	277	494	290	740
	大正～心齋橋	2.9	806	平成9年8月29日開通			806	278	275	150	381
	鶴見緑地～門真南	1.3	232	平成9年8月29日開通			232	178	94	29	109
今里筋線	井高野～今里	12.1	2,663	平成18年12月24日開通			2,663	220	1,322	451	890
南港ポートタウン線	中ふ頭～住之江公園	6.9	420	昭和56年3月16日全通			420	61	185	46	189
合計		137.2 (130.3)	14,733 (14,313)				14,733 (14,313)	— —	10,213 (10,028)	1,651 (1,605)	2,869 (2,680)

( )内の数字は地下鉄だけの数値である。  
平成17年7月1日より旧OTS線(大阪港～中ふ頭3.7km)を大阪市交通局の地下鉄・ニュートラムと一体的に運営している。  
平成30年4月1日より、大阪市交通局は民営化され、大阪市高速電気軌道(株)に移行した。

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1(1)新線

路線名	予算額	事業内容	免・特許年月日	施行認可年月日
中央線	5,005	・停留場費 ・通信線路費 ・電力線路費 ・軌道費等	2024年6月28日	-
合計	5,005			

### 2-1(2)営業線

(税抜き)

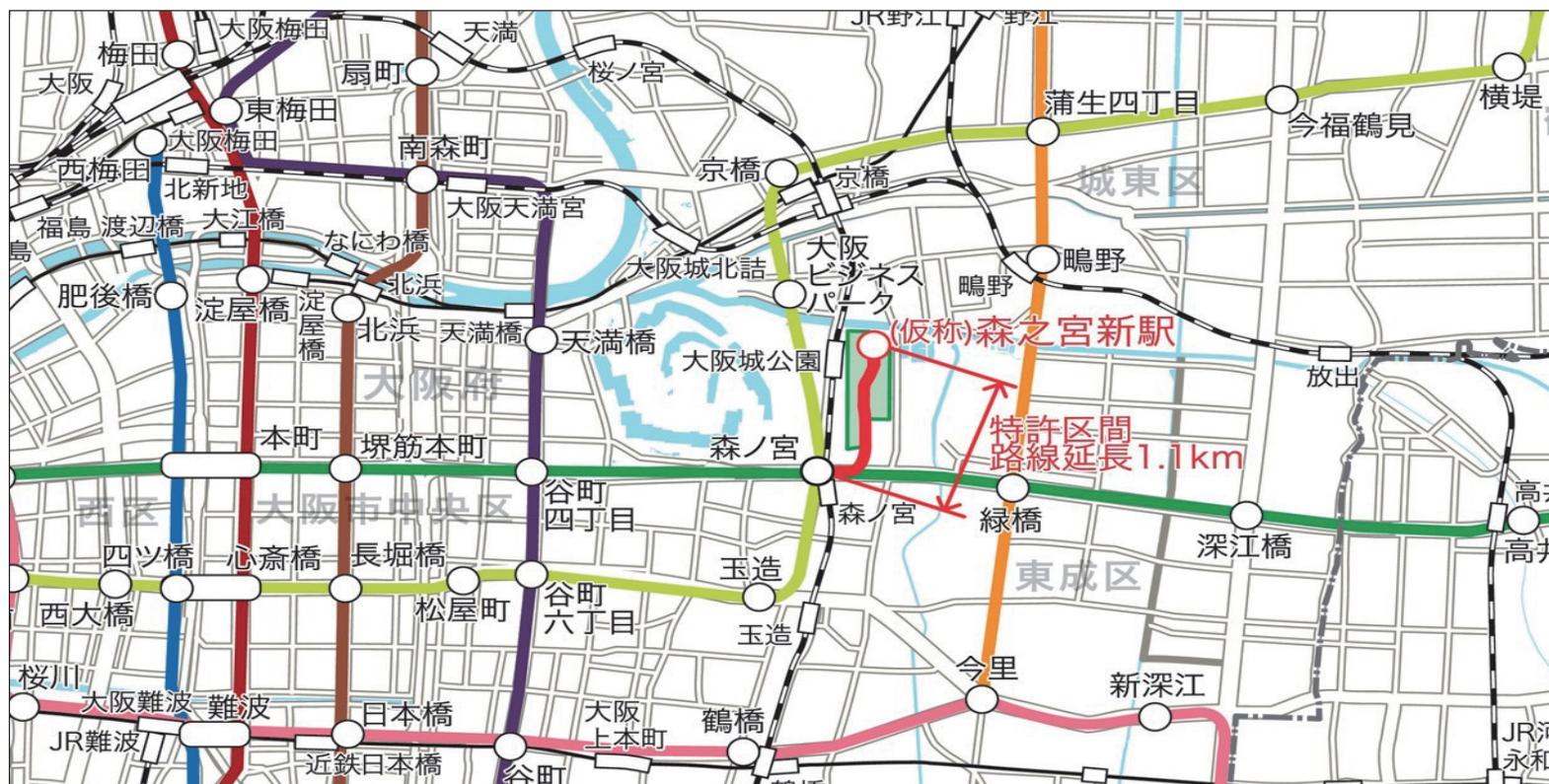
項目	予算額	事業内容
安全投資	百万円 非公表	非公表
サービス投資	非公表	非公表
その他	非公表	非公表
合計	—	

## 2-(3)建設計画

## 【建設線】

(単位：億円)

路線名	区分	区間	建設キロ	着工年度	開通年度	建設費	キロ建設費
中央線		森ノ宮～(仮称)森之宮新駅	1.1キロ	2025年度(予定)	2028年度(予定)	約50.1	約45.5



### 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

年度	営業キロ		路線数	駅数		保有車両数 両	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数 両	備考
	営業キロ	内地土部分		うち地下鉄	年間		1日平均	年間		1日平均			
	キロ	キロ									千円		
令和元年度	137.8 (129.9)	22.8 (14.9)	9 (8)	133 [110]	123 [100]	1,364 (1284)	929,700	2,540	5,486	151,610,894	414,238	10 (10)	(税抜)
令和2年度	137.8 (129.9)	22.8 (14.9)	9 (8)	133 [110]	123 [100]	1,364 (1284)	665,148	1,822	3,933	106,514,792	291,821	10 (10)	(税抜)
令和3年度	137.8 (129.9)	22.8 (14.9)	9 (8)	133 [110]	123 [100]	1,354 (1274)	702,676	1,925	4,206	112,844,625	309,163	10 (10)	(税抜)
令和4年度	137.8 (129.9)	22.8 (14.9)	9 (8)	133 [110]	123 [100]	1,374 (1294)	808,809	2,216	4,842	131,168,890	359,367	10 (10)	(税抜)
令和5年度	137.8 (129.9)	22.8 (14.9)	9 (8)	133 [110]	123 [100]	1,374 (1294)	891,367	2,435	5,264	151,133,771	412,934	10 (10)	(税抜)
令和6年度 予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(注):( )内は、ニュートラムを除いた数値、[ ]内は、同一駅名を1駅とした場合の駅数(他鉄道委託駅を含む)

### 4. 相互乗入れ運転

(令和6年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
御堂筋線	北大阪急行	24.5 キロ	8.4 キロ
中央線	近畿日本鉄道	17.9	18.8
堺筋線	阪急電鉄	8.5	58.2 (62.3)
合計		50.9	82.9 (87.0)

※( )内は臨時運行を含む

### 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分	年度			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込	
受変電圧 (KV)	22	22	22	
受電箇所数	50	50	51	
使用電力量 (MWH)	電車用	250,320	249,479	250,523
	付帯用	183,625	184,369	181,312
	計	433,946	433,848	431,835
電気料金 (百万円)	9,804	8,731	8,471	

※電気料金は全て税込み

### 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

項目	令和5年度		令和6年度 見込		
	エスカレーター	381箇所		381箇所	
エレベーター	352箇所		356箇所		
身障者用	トイレ	217箇所		217箇所	
	点字券売機	228箇所	656台	228箇所	656台
	斜路	218箇所	74駅	218箇所	74駅
	チャイム等	464箇所	121駅	464箇所	121駅
その他	-		-		
基準適合段差解消駅	133駅		133駅		
自転車 置場	設置駅数	-駅		-駅	
	収容台数	-台		-台	

※  
 ・ホーム～地上のエレベータによるルート確保:全駅整備(22年度)  
 ・地下鉄間乗換経路におけるエレベータによるルート確保:全交差駅整備完了(25年度)  
 ・身障者トイレ(車いす対応):全駅整備完了(23年度)

## 7. 営業線の概要

項目		線名					線名					線名					線名																							
		御堂筋線					谷町線					四つ橋線					中央線																							
線区概要	営業区間	江坂～中百舌島					大日～八尾南					西梅田～住之江公園					コスモスクエア～長田																							
	営業キロ(km)	24.5					28.1					11.4					17.9																							
	(地上部)	(5.4)					(1.2)					(0)					(8.3)																							
	駅数(駅)	20					26					11					14																							
ホームドア(柵)設置駅数(駅)	20					1					5					2																								
軌間・電気	軌間(m)	1,435					1,435					1,435					1,435																							
	電気方式(V)	直流750					直流750					直流750					直流750																							
	集電方式	第三軌条					第三軌条					第三軌条					第三軌条																							
車両	保有車両(車両)	20系		30000系			20系		30000系			20系		30000A系			400系																							
		180	220			174	78			138	60			72																										
	(電動車両)	(90)		(110)			(87)		(39)			(69)		(30)			(36)																							
	車両長(m)	先頭18.2	中間18	先頭18.2	中間18	先頭18.2	中間18	先頭18.2	中間18	先頭18.2	中間18	先頭18.2	中間18	先頭182	中間18	先頭18.9	中間18.7																							
定員(人)	先頭130	中間140	先頭130(※1)	中間140(※2)	先頭130	中間140	先頭130	中間140	先頭130	中間140	先頭130	中間140	先頭130	中間140	先頭125	中間139(※3)																								
保安装置	ATS・ATC	連続誘導式ATC					連続誘導式ATC					連続誘導式ATC					連続誘導式ATC																							
	列車通信	誘導無線式					誘導無線式					誘導無線式					誘導無線式																							
運転概要	編成両数(両)	10					6					6					6																							
	運転間隔(分・秒)	江坂	新大阪	中津	天王寺	我孫子	中百舌島	大日	都島	文の里	喜連瓜破	八尾南																												
	(平日)	4.30	2.15～4.30	2.15	2.15～4.30	4.30	5	2.30	2.30～4.30	6	2.50	3.15～5																												
	朝混雑時	8	4		8		6					6					7.30																							
	昼間時	5	2.30～5	2.30	5		6～7	3～3.30	3～7	6～7	3.30	5																												
	夕混雑時	上り47.25					下り46.30					上り53.30					下り53.40					上り22.50					下り21.50					上り30.00					下り29.25			
運転所要時間(分・秒)																																								
平均速度(km/h)	上り41.1					下り41.3					上り39.6					下り39.1					上り38.7					下り39.1					上り44.0					下り44.3				
表定速度(km/h)	上り31.0					下り31.6					上り31.5					下り31.4					上り30.0					下り31.3					上り35.8					下り36.5				
最高速度(km/h)	70.0					70.0					70.0					70.0					70.0					70.0					70.0									
令和5年度1日当り平均輸送人員(千人)	1,177					494					247					318					604																			
令和5年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)	2,269					968					347					604																								

(※1)御堂筋線 30000系第04、第05編成\_129  
(※2)御堂筋線 30000系第04～第22編成\_139  
(※3)中央線 T2\_140 T2以外\_139

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

線名		千日前線	堺筋線	長堀鶴見緑地線		今里筋線	南港ポートタウン線 (ニュートラム)
項目	営業区間	野田阪神～南巽	天神橋筋六丁目～天下茶屋	大正～門真南		井高野～今里	コスモスクエア～住之江公園
	営業キロ(km)	12.6	8.5	15		11.9	7.9
	(地上部)	(0)	(0)	(0)		(0)	(7.9)
	駅数(駅)	14	10	17		11	10
線区概要	ホームドア(柵) 設置駅数(駅)	14	10	17		11	10
	軌間(m)	1.435	1.435	1.435		1.435	2.750
	電気方式(V)	直流750	直流1,500	直流1,500		直流1,500	側方案内方式三相交流600V
	集電方式	第三軌条	架空線	架空線		架空線	側面接触方式
車両	保有車両(車両) (電動車両)	20系 68 (34)	66系 136 (68)	70系 100 (100)	80系 4 (4)	80系 64 (64)	200系 80 (80)
	車両長(m)	先頭18.2 中間18	18.2	先頭15.2 中間15	先頭15.2 中間15	先頭15.2 中間15	7.6
	定員(人)	先頭130 中間140	編成により異なる(※4)	先頭89 中間101	先頭86 中間99	先頭88 中間99	先頭40 中間43
	保安装置	ATS・ATC 列車通信	連続誘導式 車内信号ATC 誘導無線式	連続誘導式ATC 空間波無線式(アナログ)	連続誘導式 車内信号ATC 誘導無線式	連続誘導式 車内信号ATC 空間波無線式(アナログ)	連続誘導式 車内信号ATC 空間波無線式(デジタル)
運転概要	編成両数(両)	4	8	4		4	4
	運転間隔(分・秒)						
	(平日)						
	朝混雑時	4.10～5.00	3.30	3～3.20		4～5	2.30
	昼間時	7.30	6.40	6.40		10	6
	夕混雑時	5	3.30	3.30		5	3.45
運転所要時間(分・秒)	上り28.10 下り28.10	上り17.15 下り17.45	上り32.15 下り31.25	上り32.15 下り31.25	上り22.50 下り24.00	上り18.25 下り18.25	
平均速度(km/h)	上り38.1 下り37.8	上り39.7 下り38.0	上り37.4 下り37.5	上り37.4 下り37.5	上り37.7 下り36.3	上り33.5 下り32.3	
表定速度(km/h)	上り26.8 下り26.8	上り29.6 下り28.7	上り27.9 下り28.6	上り27.9 下り28.6	上り31.3 下り29.8	上り25.7 下り25.7	
最高速度(km/h)	70.0	70.0	70.0		70.0	55.0	
令和5年度1日当り 平均輸送人員(千人)	192	319	172		66	69	
令和5年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)	233	400	265		106	73	

(※4)堺筋線 66系第13～17編成 先頭130 中間140  
66系第01～12編成 先頭127 中間137

# 大阪市高速電気軌道(株) 路線図



# 札幌市

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
南北線 (北24条～真駒内)	キロ 12.625	432	昭和46年12月16日全通			432	34	395	22	15	
南北線 (麻生～北24条)	2.400	390	昭和53年3月16日全通			390	163	350	39	1	
東西線 (琴似～白石)	10.670	1,090	昭和51年6月10日全通			1,090	102	965	107	18	
東西線 (白石～新札幌)	7.340	1,324	昭和57年3月21日全通			1,324	180	1,168	130	26	
東西線 (琴似～宮の沢)	2.790	479	平成11年2月25日全通			479	172	268	94	117	
東豊線 (栄町～豊水すすきの)	8.995	2,337	昭和63年12月2日全通			2,337	260	2,095	233	9	
東豊線 (豊水すすきの～福住)	5.535	966	平成6年10月14日全通			966	174	672	187	107	
合計	50.355	7,018				7,018	—	5,913	812	293	

札幌市

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1(1)新線

「計画なし」

### 2-1(3)建設計画

「計画なし」

### 2-2(2)営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
駅舎施設設備の改修	百万円 8,866	南北線さっぽろ駅改良事業、冷暖房機器更新事業、エスカレーター更新工事、クレジットタッチ決済対応に係る改修等
地震対策	3,994	南車両基地改築ほか工事等
その他	6,312	駅舎設備、建物・土木構造物、軌道、変電所・電気室、信号通信、車両機器、工場機器設備、広告設備、備品等、局関係施設等
合計	19,172	

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税込み)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均	年間	年間	1日平均		
令和元年度	48.0	4.6	3	49 (46)	368	226,909	620	1,347	41,464,863	113,292	7	
令和2年度	48.0	4.6	3	49 (46)	368	162,823	446	981	30,605,908	83,852	7	
令和3年度	48.0	4.6	3	49 (46)	368	174,681	479	1,050	32,944,842	90,260	7	
令和4年度	48.0	4.6	3	49 (46)	368	201,560	552	1,199	38,488,660	105,448	7	
令和5年度	48.0	4.6	3	49 (46)	368	218,654	597	1,291	42,304,635	115,586	7	
令和6年度 予定	48.0	4.6	3	49 (46)	368	217,618	596	—	42,354,000	116,038	7	

(注):( )内は同一駅名を1駅とした場合の駅数

## 4. 相互乗入れ運転

[該当なし]

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
区分	受変電圧 (KV)	66	66	66
	受電箇所数	11	11	11
使用電力量 (MWH)	電車用	58,891	58,216	58,216
	付帯用	61,334	63,127	63,127
	計	120,225	121,343	121,343
	電気料金 (百万円)	3,420	3,327	3,327

※電気料金は、全て税込み

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

年度		令和5年度	令和6年度 見込
項目	エスカレーター	240 箇所	240 箇所
	エレベーター	118 箇所	118 箇所
身障者用	トイレ	54 箇所	54 箇所
	点字券売機	226 箇所	226 箇所
	斜路	35 箇所 22 駅	37 箇所 23 駅
	チャイム等	291 箇所 46 駅	291 箇所 46 駅
	その他	—	—
	基準適合段差解消駅	44 駅	44 駅
自転車 置場	設置駅数	45 駅	45 駅
	収容台数	36,413 台	36,413 台

(札幌市)

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

線名		南北線	東西線	東豊線
項目				
線区概要	営業区間	麻生～真駒内	宮の沢～新さっぽろ	栄町～福住
	営業キロ(km)	14.3	20.1	13.6
	(地上部)	(4.6)	(—)	(—)
	駅数(駅)	16	19	14
	ホームドア(柵)設置駅数(駅)	16	19	14
軌間・電気	軌間(m)	2,230	2,150	2,150
	電気方式(V)	直流750	直流1,500	直流1,500
	集電方式	第三軌条	架空線	架空線
車両	保有車両(車両)	5000形 120	8000形 168	9000形 80
	(電動車両)	(60)	(72)	(40)
	車両長(m)	18.4	18.0	18
	定員(人)	先頭 128、中間 143	先頭 119、中間 135	先頭 121、中間 137
	保安装置	ATS・ATC 列車通信	ATC 誘導無線式	ATC 誘導無線式
運転概要	編成両数(両)	6	7	4
	運転間隔(分・秒) (平日)			
	朝混雑時	4.0～4.5	4.0～4.5	3.5～4.0
	昼間時	7.0	7.0	7.5
	夕混雑時	5.0～5.5	5.0～5.5	5.0～5.5
	運転所要時間(分・秒)	27.5	35.0	25.5
	平均速度(km/h)	39.0	41.6	39.2
表定速度(km/h)	31.2	34.4	32.1	
最高速度(km/h)	70.0	70.0	70.0	
令和5年度1日当り 平均輸送人員(千人)	219	237	141	
令和5年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)	380	629	282	

# 札幌市地下鉄路線図



# 仙台市

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
南北線 (八乙女～富沢)	キロ 14.4	2,340	昭和62年7月15日全通				2,340	163	1,841	205	294
(泉中央～八乙女)	1.1	97	平成4年7月15日全通				97	88	74	16	7
東西線 (八木山動物公園～荒井)	14.4	2,327	平成27年12月6日全通				2,327	162	730	463	1,134
合計	29.9	4,764					4,764				

仙台市

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1)新線

「計画なし」

### 2-3)建設計画

「計画なし」

### 2-2)営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
建物	百万円 926	ホーム乗降口隙間調整材設置等
線路設備	2	
電路設備	1,672	電力管理システム更新等
車両	948	南北線車両更新等
機械装置	2,654	特別高圧受電設備等更新等
その他	238	
合計	6,440	

※予算額は当初予算

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数 両	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数 両	備考
	営業キロ キロ	内地上部分 キロ				年間 千人	1日平均 千人		年間 千円	1日平均 千円		
令和元年度	28.7	3.9	2	30 (29)	144	91,683	250	472	15,775,986	43,104	4	
令和2年度	28.7	3.9	2	30 (29)	144	69,601	191	360	11,619,880	31,835	4	
令和3年度	28.7	3.9	2	30 (29)	144	74,982	205	386	12,675,740	34,728	4	
令和4年度	28.7	3.9	2	30 (29)	144	82,823	227	423	14,129,670	38,711	4	
令和5年度	28.7	3.9	2	30 (29)	144	90,136	246	454	15,500,700	42,352	4	
令和6年度 予定	28.7	3.9	2	30 (29)	148	93,461	256	-	17,491,356	47,922	4	

(注):( )内は同一駅名を1駅とした場合の駅数

## 4. 相互乗入れ運転

〔該当なし〕

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分		年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
受変電圧 (KV)			66	66	66
受電箇所数			7	7	7
使用電力量 (MWH)	電車用		28,413	26,829	27,430
	付帯用		27,368	26,937	27,307
	計		55,781	53,766	54,737
電気料金 (百万円)			1,594	1,327	1,822

※電気料金は、全て税込み

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

項目		年度		令和5年度		令和6年度 見込	
エスカレーター				210箇所		210箇所	
エレベーター				71箇所		71箇所	
身障者用	トイレ			83箇所		83箇所	
	点字券売機			35箇所		35箇所	
	斜路	3箇所	3駅	3箇所	3駅		
	チャイム等	376箇所	30駅	376箇所	30駅		
その他				1箇所		1箇所	
基準適合段差解消駅				30駅		30駅	
自転車置場	設置駅数			29駅		29駅	
	収容台数			18,539台		17,136台	

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

線名		南北線	東西線	
項目				
線区概要	営業区間	泉中央～富沢	八木山動物公園～荒井	
	営業キロ(km)	14.8	13.9	
	(地上部)	(3.3)	(0.6)	
	駅数(駅)	17	13	
	ホームドア(柵) 設置駅数(駅)	17	13	
軌間・電気	軌間(m)	1.067	1.435	
	電気方式(V)	直流1,500	直流1,500	
	集電方式	架空線	架空線	
車両	保有車両(車両)	84	60	
	(電動車両)	(42)	(60)	
	車両長(m)	先頭21.75 中間20.00	先頭16.75 中間16.5	
	定員(人)	144	先頭92 中間102	
保安装置	ATS・ATC	ATC(高周波連続誘導方式 車内信号付き)	ATC(高周波連続誘導方式 車内信号付き)	
	列車通信	空間波無線式	空間波無線式	
運転概要	編成両数(両)	4	4	
	運転間隔(分・秒) (平日)			
	朝混雑時	3.00～5.00	5.00～6.00	
	昼間時	10.0	10.0	
	夕混雑時	5.00～5.30	6.00	
	運転所要時間(分・秒)	28.15～29.35	26.35～27.05	
平均速度(km/h)	36.0(北行)、36.9(南行)	36.4(西行)、36.7(東行)		
表定速度(km/h)	30.0～31.4	30.8～31.4		
最高速度(km/h)	75.0	70.0		
令和5年度1日当り 平均輸送人員(千人)	187	83		
令和5年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)	337	117		



# 東京都

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
東京1号線 浅草線	押上～西馬込	キロ 18.75	864	昭和43年11月15日全通			864	46	759	70	35
東京6号線 三田線	西高島平～三田	22.79	1,450	昭和51年5月6日開通			1,450	64	1,327	65	58
	三田～白金高輪	1.61	763	平成12年9月26日開通			763	474	470	147	146
東京10号線 新宿線	新宿～東大島	15.57	3,957	昭和55年3月16日開通			3,957	254	4,981	538	303
	東大島～篠崎	6.69	1,350	昭和61年9月14日開通			1,350	397			
	篠崎～本八幡	2.55	516	平成元年3月19日開通			516	202			
東京12号線 大江戸線	練馬～光が丘	4.83	1,412	平成3年12月10日開通			1,412	292	2,773	723	495
	新宿～練馬	9.11	2,579	平成9年12月19日開通			2,579	283			
	都庁前～新宿	29.64	9,583	平成12年12月12日開通			9,583	323	2,503	2,011	5,069
合計	111.54	22,474					—	12,813	3,554	6,106	

東京都

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-(1)新線

(税込み)

「計画なし」

項目	予算額	事業内容
安全・安心の確保	百万円 11,338	地下鉄施設の耐震対策の強化及び構造物の長寿命化等
質の高いサービスの提供	3,507	乗換駅等でのエレベーターの整備、地下鉄駅トイレの改良等
その他	40,555	浅草線泉岳寺駅の大規模改良等
合計	55,400	

### 2-(3)建設計画

「計画なし」

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成車両数 (他社乗入車両)	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
令和元年度	109	7.6	4	106 (99)	1,174	1,036,332	2,832	7,266	143,424,938	391,871	10 (10)	
令和2年度	109	7.6	4	106 (99)	1,190	700,207	1,918	5,006	95,381,048	261,318	10 (10)	
令和3年度	109	7.6	4	106 (99)	1,206	728,727	1,997	5,176	102,314,671	280,314	10 (10)	
令和4年度	109	7.6	4	106 (99)	1,216	818,428	2,242	5,731	115,869,543	317,451	10 (10)	
令和5年度	109	7.6	4	106 (99)	1,216	910,735	2,488	6,349	129,955,587	355,070	10 (10)	
令和6年度 定	109	7.6	4	106 (99)	-	920,590	2,522	-	141,418,000	387,447	10 (10)	

(注)乗車料収入の令和4年度予定は、消費税込みである。駅数の( )内は同一駅を1駅とした場合の数

## 4. 相互乗入れ運転

(令和6年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業	乗入者	乗入キロ数	
		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
浅草線	京成電鉄	18.3	81.6
	京浜急行電鉄	18.3	79.3
	北総鉄道	18.3	32.3
	芝山鉄道	18.3	2.2
三田線	東急電鉄	26.5	17.7
	相模鉄道	26.5	35.3
新宿線	京王電鉄	23.5	67.3
合計		149.7	315.7

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分	年度			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込	
受変電圧 (KV)	60/20	60/20	60/20	
受電箇所数	18	18	18	
使用電力量 (MWH)	電車用	248,459	258,117	258,117
	付帯用	254,739	249,143	249,143
	計	503,198	507,260	507,260
電気料金 (百万円)	13,164	12,442	12,442	

※電気料金は、全て税込み

## 6. 駅施設

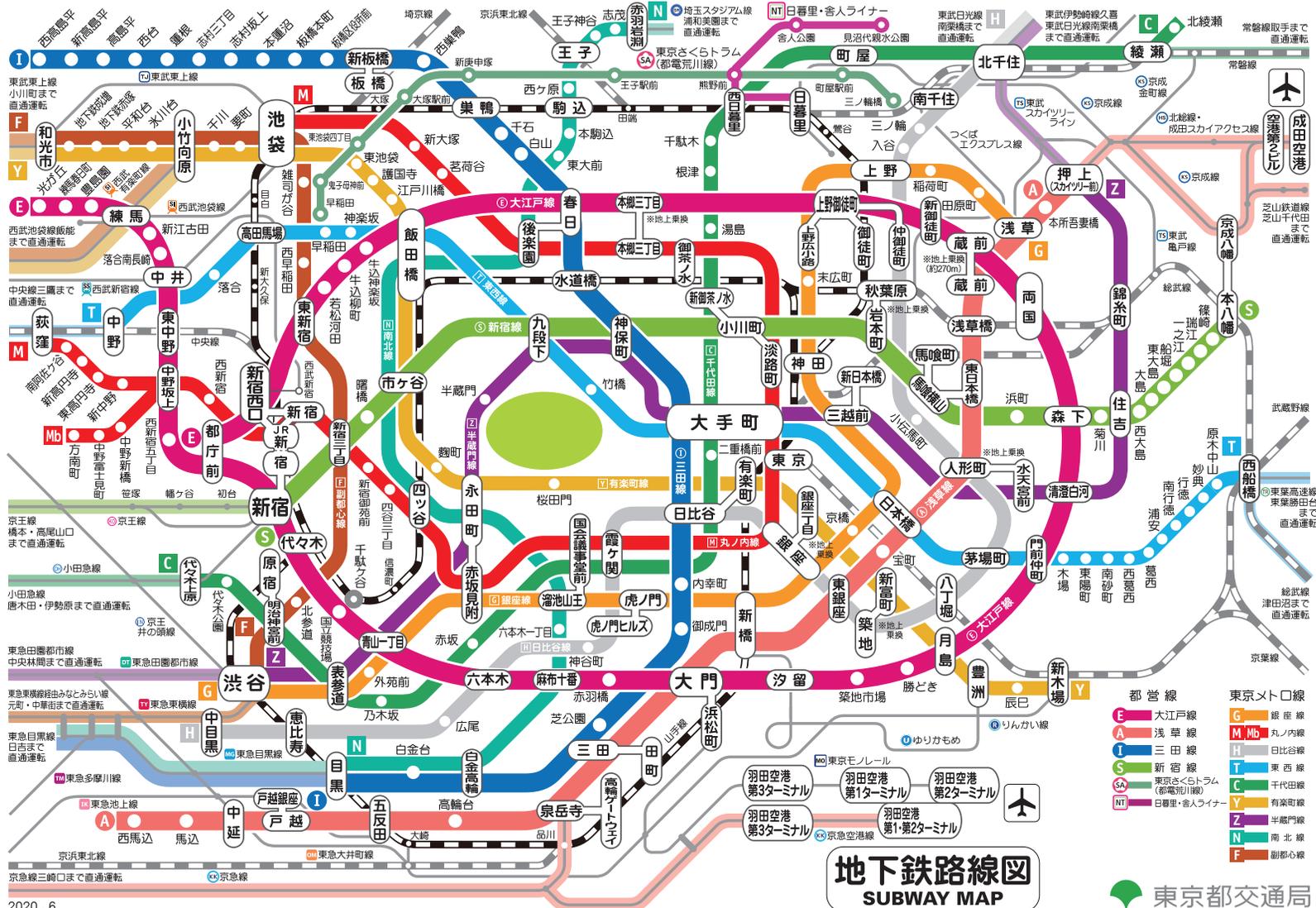
(令和6年4月1日現在)

項目	年度		
	令和5年度	令和6年度 見込	
エスカレーター	786 基	786 基	
	104 駅	104 駅	
エレベーター	106 箇所	106 箇所	
	トイレ	106 箇所	106 箇所
身障者用	点字券売機	106 箇所	106 箇所
	斜路	- 箇所 - 駅 - 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
	チャイム等	- 箇所 - 駅 - 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
	その他		
基準適合段差解消駅	90 駅	90 駅	
自転車置場	設置駅数	97 駅	97 駅
	収容台数	231 箇所	231 箇所
	収容台数	83,467 台	83,467 台

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

項目		線名		東京1号線	東京6号線	東京10号線	東京12号線		
		浅草線	三田線	新宿線	大江戸線				
線区概要	営業区間	西馬込～押上		目黒～西高島平		新宿～本八幡		都庁前～光が丘	
	営業キロ(km)	18.3		26.5		23.5		40.7	
	(地上部)	-		(5.1)		(2.5)		-	
	駅数(駅)	20		27		21		38	
軌間・電気	ホームドア(柵)設置駅数(駅)	4		27		21		38	
	軌間(m)	1.435		1.067		1.372		1.435	
	電気方式(V)	直流1,500		直流1,500		直流1,500		直流1,500	
	集電方式	架空線		架空線		架空線		架空線	
車両	保有車両(車両)	216		248		280		472	
	(電動車両)	(162)		(124)		(168)		(472)	
	車両長(m)	18		20		20		16.5	
	定員(人)	121～134		136～149		132～149		84～100	
保安装置	ATS・ATC	C-ATS		車内信号ATC		車内信号ATC		車内信号ATC	
	列車通信	空間波無線		空間波無線		空間波無線		空間波無線	
運転概要	編成両数(両)	8		6・8		10		8	
	運転間隔(分・秒)								
	(平日)								
	朝混雑時	2.30		2.30～5.00		3.00～4.00		3.00	
	昼間時	5.00～10.00		6.00		6.00		6.00	
	夕混雑時	2.30～5.00		4.30		4.00～7.30		4.30	
運転所要時間(分・秒)	北行 37.55 南行 37.40	北行 52.20 南行 52.15	東行 41.30 西行 41.30	A線 84.15 B線 83.30					
	20.25		東行 29.55 西行 29.45						
平均速度(km/h)	(急行)	北行 39.0 南行 39.0	北行 40.9 南行 41.0	東行 43.5 西行 43.5	A線 36.9 B線 37.3				
	表定速度(km/h)	北行 29.0 南行 29.2	北行 30.4 南行 30.4	東行 52.4 西行 52.7	A線 29.0 B線 29.2				
	(急行)	33.5		東行 34.0 西行 34.0					
最高速度(km/h)	70.0	75.0	75.0	70.0					
令和5年度1日当り平均輸送人員(千人)	683	607	704	836					
令和5年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)	1,307	1,497	1,771	1,774					



- 都営線 東京メトロ線
- E 大江戸線 G 銀座線
  - A 浅草線 H 丸ノ内線
  - T 三田線
  - S 新宿線 T 東西線
  - SA 東京さくらトラム (都電荒川線) C 千代田線
  - NT 日暮里・舎人ライナー Y 有楽町線
  - Z 半蔵門線
  - N 南北線
  - F 副都心線

**地下鉄路線図**  
SUBWAY MAP

# 横浜市

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
1号線 関内～戸塚	12.4	1,554	平成元年8月27日全通				1,554	125	1,369	150	35
1号線 戸塚～湘南台	7.4	1,642	平成11年8月29日開通				1,642	222	583	296	763
3号線 横浜～関内	3.1	388	昭和51年9月4日開通				388	125	342	41	5
3号線 新横浜～横浜	7.1	1,175	昭和60年3月14日開通				1,175	165	1,053	110	12
3号線 あざみ野～新横浜	10.7	2,528	平成5年3月18日開通				2,528	236	1,441	486	601
4号線 日吉～中山	13.1	2,412	平成20年3月30日開通				2,412	184	1,208	418	786
合計	53.8	9,699					9,699	—	5,996	1,501	2,202

横浜市

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-(1)新線

「計画なし」

### 2-(3)建設計画

「計画なし」

### 2-(2)営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
車両関係	百万円 4,051	グリーンライン6両化 中間増備車の製造等
その他	15,438	地下鉄施設・設備の計画的更新・補修
合計	19,489	

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地土部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
令和元年度	53.4	10.1	3	42 (40)	284	243,162	664	1,854	39,782,896	108,696	BL 6 GL 4	
令和2年度	53.4	10.1	3	42 (40)	284	176,540	484	—	32,439,960	88,877	BL 6 GL 4	
令和3年度	53.4	10.1	3	42 (40)	284	194,477	533	—	35,614,111	97,573	BL 6 GL 4	
令和4年度	53.4	10.1	3	42 (40)	290	212,306	582	—	39,095,512	107,111	BL 6 GL 6	
令和5年度	53.4	10.1	3	42 (40)	302	222,346	608	—	41,099,362	112,293	BL 6 GL 6	
令和6年度 予	53.4	10.1	3	42 (40)	310	229,727	629	—	40,909,518	112,081	BL 6 GL 6	

(注):( )は同一駅名を1駅とした場合の駅数 BL:ブルーライン(1・3号線) GL:グリーンライン(4号線)

※決算額は税抜き、予算額は税込みで記載。

## 4. 相互乗入れ運転

〔該当なし〕

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
区分				
受変電圧 (KV)		66/22	66/22	66/22
受電箇所数		9	9	9
使用電力量 (MWH)	電車用	78,187	73,903	74,022
	付帯用	46,662	44,965	48,530
	計	124,849	118,869	122,552
電気料金 (百万円)		3,402	3,975	3,488

※電気料金は消費税抜き

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

年度		令和5年度		令和6年度 見込	
項目					
エスカレーター		180箇所		180箇所	
エレベーター		103箇所		103箇所	
身障者用	トイレ	75箇所		77箇所	
	点字券売機	113箇所		113箇所	
	斜路	12箇所	10駅	12箇所	10駅
	チャイム等	158箇所		158箇所	
その他	50箇所		50箇所		
基準適合段差解消駅		40駅		40駅	
自転車置場	設置駅数	12駅		12駅	
	収容台数	4,002台		4,002台	

・その他は点字運賃表

・自転車置場収容台数は交通局関連団体が管理するものとした。

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

項目		線名		1・3号線 ブルーライン	4号線 グリーンライン	
線区概要	営業区間	あざみ野～湘南台		日吉～中山		
	営業キロ(km)	40.4		13.0		
	(地上部)	(7.7)		(2.4)		
	駅数(駅)	32		10		
軌間・電気	ホームドア(柵)	32		10		
	設置駅数(駅)					
	軌間(m)	1,435		1,435		
	電気方式(V)	直流750		直流1,500		
車両	集電方式	第三軌条		架空線		
	保有車両(車両)	222		80		
	(電動車両)	(148)		(80)		
	車両長(m) <sup>※1</sup>	18		15.5		
保安装置	定員(人)	127 <sup>※2</sup>		95, 97 <sup>※3</sup>		
	ATS・ATC	連続誘導式ATC		連続誘導式ATC		
運転概要	列車通信	誘導無線式		空間波無線方式(LCXケーブル)		
	編成両数(両)	6		4or6		
	運転間隔(分・秒)					
	(平日)					
	朝混雑時	4.40		3.30		
	昼間時	8.30～10		10		
	夕混雑時	6		6		
運転所要時間(分・秒)	快速	68.15		20.35		
	普通	61.05		20.40		
平均速度(km/h)	上り	68.45		49.0		
	下り	60.15		37.9		
	平均	49.6		45.0		
表定速度(km/h)	平均	40.3		80.0		
最高速度(km/h)	表定	35.5				
令和5年度1日当り平均輸送人員(千人)	平均	499		132		
令和5年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)	平均	1,427		244		

※1：中間車の車両長

※2：4000形の号車あたりの平均定員

※3：4.6両編成の号車あたりの平均定員

# 横浜市高速鉄道路線図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を使用したものである。（承認番号 平20開地、第59号）」

横浜市中区太田町2-22 TEL 045-201-2715 (株) 中央ジェマテックス  
平成二十一年十月

# 名古屋市

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
東山線 高畑～藤が丘	21.4	937	昭和57年9月21日全通			937	44	854	62	21	
名城線 大曾根～大曾根	26.1	3,102	平成16年10月6日全通			3,102	119	1,670	532	900	
名港線 金山～名古屋港	6.1	237	昭和46年3月29日全通			237	39	235	0	2	
鶴舞線 上小田井～赤池	21.2	2,659	平成5年8月12日全通			2,659	125	2,306	282	71	
桜通線 太閤通～徳重	19.9	4,970	平成23年3月27日全通			4,970	250	3,705	705	560	
合計	94.7	11,905				11,905	—	8,770	1,581	1,554	

名古屋  
市

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1) 新線

「計画なし」

### 2-3) 建設計画

「計画なし」

### 2-2) 営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
バリアフリー 関連施設整備工事	百万円 2,063	駅エレベーターの整備 伏見駅、御器所駅、本山駅、新瑞橋駅、瑞穂運動場西駅、 本郷駅
可動式ホーム柵の整備	2,057	鶴舞線可動式ホーム柵の整備
構造物の耐震補強	854	地下鉄構造物の耐震補強
車両の購入	—	
その他	13,942	駅施設整備等
合計	18,916	

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数 両	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税込み)		最多編成 車両数 両	備考
	営業キロ キロ	内地上部分 キロ				年間 千人	1日平均 千人		年間 千円	1日平均 千円		
令和元年度	93.3	3.1	6	100 (87)	782	487,370	1,332	3,065	82,818,930	226,281	6	
令和2年度	93.3	3.1	6	100 (87)	782	346,427	949	2,172	58,320,414	159,782	6	
令和3年度	93.3	3.1	6	100 (87)	782	380,094	1,041	2,394	63,828,898	174,874	6	
令和4年度	93.3	3.1	6	100 (87)	782	418,995	1,148	2,624	71,412,356	195,650	6	
令和5年度	93.3	3.1	6	100 (87)	782	446,320	1,219	2,771	77,456,702	211,630	6	
令和6年度 予定	93.3	3.1	6	100 (87)	782	457,090	1,252	-	80,131,548	219,538	6	

(注):( )は同一駅名を1駅とした場合の数

※乗車料収入は消費税込みの数値

## 4. 相互乗入れ運転

(令和6年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数 キロ	他社線内 乗入キロ数 キロ
鶴舞線	名古屋鉄道	20.4	38
上飯田線	名古屋鉄道	0.8	20.6
合計		21.2	58.6

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

年度 区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
受電電圧 (KV)		70/30/6	70/30/6	70/30/6
受電箇所数		30	30	30
使用電力量 (MWH)	電車用	120,506	119,688	118,652
	付帯用	99,796	96,523	94,492
	計	220,302	216,211	213,144
電気料金 (百万円)		5,937	5,109	5,944

※電気料金は、税込み

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

年度 項目	令和5年度	令和6年度 見込
エスカレーター	399 箇所	399 箇所
エレベーター	262 箇所	262 箇所
身障者用	トイレ	100 箇所
	点字券売機	342 箇所
	斜路	(170) 箇所
	チャイム等	283 箇所
その他	箇所	箇所
基準適合段差解消駅	87 駅	87 駅
自転車 置場	設置駅数	87 駅
	収容台数	88,807 台

※:( )内は、移動円滑化実績報告書で報告した数値。

※:チャイム等は、出入口、ホーム階段、改札口に設置している音声誘導装置。

※:基準適合段差解消駅は、公共交通移動等円滑化基準第4条第2項から第7項及び第9項の基準に適合する同条第1項に規定する「移動等円滑化された経路」を乗降場ごとに1以上確保している駅。

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

線名		東山線	名城線	名港線	鶴舞線	桜通線	上飯田線
項目	営業区間	高畑～藤が丘	ナゴヤドーム前矢田 ～ナゴヤドーム前矢田	金山～名古屋港	上小田井～赤池	太閤通～徳重	上飯田～平安通
	営業キロ(km)	20.6	26.4	6.0	20.4	19.1	0.8
	(地上部)	(2.6)	(0)	(0)	(0.5)	(0)	(0)
	駅数(駅)	22	28	7	20	21	2
線区概要	ホームドア(柵) 設置駅数(駅)	22	28	7	0	21	2
	軌間(m)	1.435	1.435		1.067	1.067	1.067
	電気方式(V)	直流600	直流600		直流1,500	直流1,500	直流1,500
	集電方式	第三軌条	第三軌条		架空線	架空線	架空線
車両	保有車両(両)	288	216		150	120	8
	(電動車両)	(192)	(144)		(75)	(72)	(4)
	車両長(m)	15	15		20	20	20
	定員(人)	96～107	96～107		136～152	127～152	128～135
保安装置	ATS・ATC	連続誘導式ATC					
	列車通信	誘導無線式					
運転概要	編成両数(両)	6	6		6	5	4
	運転間隔(分・秒) (平日)						
	朝混雑時	2	3～3.5		4.5	4	8.5
	昼間時	6	5		10	10	15
	夕混雑時	3	3.5		6	6	10
	運転所要時間(分・秒)	38.10	59.00		11.10	38.30	36.30
平均速度(km/h)	40.1	39.8		40.8	42.1	40.4	32.0
表定速度(km/h)	32.4	26.8		32.4	31.9	31.4	32.0
最高速度(km/h)	65.0	65.0		65.0	75.0	75.0	75.0
令和5年度1日当り 平均輸送人員(千人)	550	568			272	264	31
令和5年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)	984	759			579	440	9

(注)「電動車両」には、制御電動車を含む。

# 名古屋市地下鉄



# 京都市

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
烏丸線	北山～竹田	11.7	2,600	昭和56年5月29日、昭和63年6月11日、平成2年10月24日開通			2,600	222	2,089	238	273
	国際会館～北山	2.6	453	平成9年6月3日開通			453	174	144	79	230
東西線	醍醐～御陵			平成9年10月12日開通			2,972	316	1,952	574	446
	三条京阪～二条	9.4	2,972								
	御陵～三条京阪	3.5	1,543	平成21年4月1日事業譲受			1,543	(注)359	—	129	1,414
	六地藏～醍醐	2.4	556	平成16年11月26日開通			556	232	303	111	142
	二条～太秦天神川	2.4	390	平成20年1月16日開通			390	162	109	30	251
合計		32.0	8,514				8,514	—	4,597	1,161	2,756

(注) 御陵～三条京阪間のキロ当り建設費用は、京阪京津線乗入れ区間分0.8kmを加えた4.3kmにて算出している。

※決算額は税抜き

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1) 新線

「計画なし」

### 2-3) 建設計画

「計画なし」

### 2-2) 営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
車両関係	百万円 2,686	烏丸線新型車両 主電動機部分更新等
駅務関係	2,276	駅舎電気設備更新工事 ヒートポンプチラー更新工事等
その他	2,123	事業用電話設備・通信情報伝送路設備部分更新工事 ATO地上装置設置工事等
合計	7,085	

京都市

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
令和元年度	31.2	0.4	2	32 (31)	222	146,369	400	763	25,778,414	70,433	6	
令和2年度	31.2	0.4	2	32 (31)	222	97,546	267	518	16,941,877	46,416	6	
令和3年度	31.2	0.4	2	32 (31)	222	107,684	295	591	18,602,951	50,967	6	
令和4年度	31.2	0.4	2	32 (31)	222	127,086	348	666	22,345,901	61,222	6	
令和5年度	31.2	0.4	2	32 (31)	222	141,093	385	705	25,193,739	69,024	6	
令和6年度 予定	31.2	0.4	2	32 (31)	222	141,000	385	-	27,423,449	75,133	6	

(注):( )は同一駅名を1駅とした場合の駅数

※決算額は税抜き

## 4. 相互乗入れ運転

(令和6年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
烏丸線	近畿日本鉄道	13.7	35.4
東西線	京阪電気鉄道	8.8	-
合計		22.5	35.4

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
		受変電圧 (KV)	22	22
受電箇所数		9	9	9
使用電力量 (MWH)	電車用	33,222	32,401	31,713
	付帯用	48,576	47,352	47,575
	計	81,797	79,753	79,288
電気料金 (百万円)		1,783	1,735	1,965

※電気料金は、税抜き

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

項目	年度	令和5年度		令和6年度 見込	
		エスカレーター	110	か所	110
エレベーター		77	か所	77	か所
身障者用	トイレ※1	34	か所	34	か所
	点字券売機	0	か所	0	か所
	斜路	25	か所	25	か所
	チャイム等	14	駅	14	駅
	その他	176	か所	176	か所
	その他	-		-	
基準適合段差解消駅		31	駅	31	駅
自転車 置場 ※2	設置駅数	2	駅	2	駅
	収容台数	833	台	833	台

(注) ※1 但し男女それぞれを1か所として計上した  
場合75か所

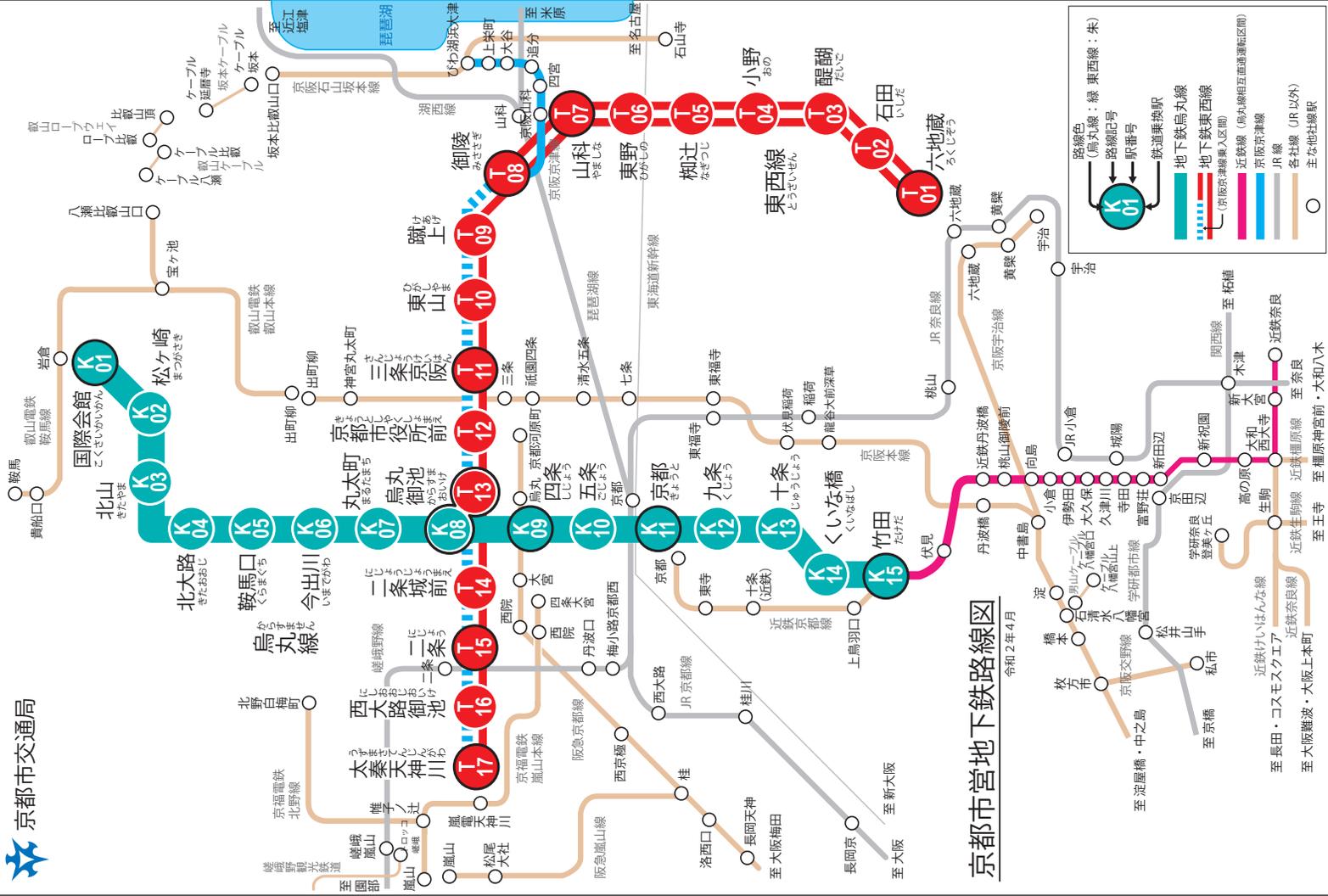
※2 自転車置場は交通局が管理するもの

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

項目 \ 線名		烏丸線	東西線	
線区概要	営業区間	国際会館～竹田	六地藏～太秦天神川	
	営業キロ(km)	13.7	17.5	
	(地上部)	(0.4)	(0)	
	駅数(駅)	15	17	
ホームドア(柵)設置駅数(駅)	4	17		
	軌間(m)	1.435	1.435	
電気方式(V)	直流1.500	直流1.500		
	集電方式	架空線	架空線	
車両	保有車両(車両)	120	102	
	(電動車両)	(80)	(68)	
	車両長(m)	20.5	16.5	
	定員(人)	10系836/6両 20系832/6両	600/6両	
保安装置	ATS・ATC	ATC	ATC	
	列車通信	誘導無線式	誘導無線式	
運転概要	編成両数(両)	6	6/京阪乗入れは4両	
	運転間隔(分・秒)			
	(平日)			
	朝混雑時	3.30～4.30	4.00～6.30	
	昼間時	6.00～9.00	7.30～10.00	
	夕混雑時	5.00	7.00～8.00	
運転所要時間(分・秒)	27.30	34.30		
平均速度(km/h)	38.7	上り38.5 下り38.4		
表定速度(km/h)	29.9	30.4		
最高速度(km/h)	75.0	75.0		
令和5年度1日当り平均輸送人員(千人)	277	161		
令和5年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)	431	274		

(注)「電動車両」には、制御電動車を含む。



# 神戸市

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
山手・西神線 (新神戸～新長田) (新長田～名谷)	13.3 (7.6) (5.7)	2,083	昭和60年6月18日全通				2,083	152	2,158	240	110
西神延伸線 (名谷～西神中央)	9.4	425	昭和62年3月18日全通			425	46				
北神線 (谷上～新神戸)	7.5		令和2年6月1日市営化								
海岸線 (新長田～三宮・花時計前)	7.9	2,350	平成13年7月7日全通				2,350	290	1,289	459	601
合計	38.1	4,858					4,858	—	3,447	699	711

(注)西神線 昭和52年3月13日開通

神戸市

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1(1)新線

「計画なし」

### 2-1(3)建設計画

「計画なし」

### 2-1(2)営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
機械装置整備工事	百万円 8,333	電力管理システム更新工事、西神・山手線LCU改修工事など
車両整備工事	1,559	6000形ワンマン化対応改修、5000形車両用VVVF装置更新、5000計車両用SIV装置更新 など
建物整備工事	3,901	板宿大規模改修工事、三宮駅東コンコースデザイン改修工事、名谷駅改札内コンコース内装取替工事 など
その他	7,109	
合計	20,902	

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均	年間	年間	1日平均		
令和元年度	30.6	7.2	2	26	214	114,162	311	921	18,674,295	51,023	6	
令和2年度	38.1	7.4	2	27	238	96,386	264	742	14,889,445	40,793	6	
令和3年度	38.1	7.4	2	27	250	95,519	262	809	15,972,865	43,761	6	
令和4年度	38.1	7.4	2	27	238	104,167	285	883	17,716,057	48,537	6	
令和5年度	38.1	7.4	2	27	214	103,362	283	919	18,618,935	50,871	6	
令和6年度 予	38.1	7.4	2	27	214	110,860	304	919	20,482,984	56,117	6	

※決算額は税抜き

## 4. 相互乗入れ運転

〔該当なし〕

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分	年度			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込	
受変電圧 (KV)	77 33 22	77 33 22	77 33 22	
受電箇所数	2 6 1	2 6 1	2 6 1	
使用電力量 (MWH)	電車用	39,260	39,255	39,162
	付帯用	33,737	33,532	33,385
	計	72,997	72,787	72,547
電気料金 (百万円)	-	-	-	

※電気料金は、関西電力との協定に基づき、非公表とします。

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

項目	年度		
	令和5年度	令和6年度 見込	
エスカレーター	90 箇所	90 箇所	
エレベーター	52 箇所	52 箇所	
身障者用	トイレ	29 箇所	29 箇所
	点字券売機	83 箇所	83 箇所
	斜路	- 箇所 1 駅	- 箇所 1 駅
	チャイム等	- 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
	その他		
基準適合段差解消駅	20 駅	20 駅	
自転車 置場	設置駅数	21 駅	21 駅
	収容台数	16,788 台	16,214 台

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

項目		線名				北神・山手・西神・西神延伸線	海岸線
線区概要	営業区間	谷上～西神中央				新長田～三宮・花時計前	
	営業キロ(km)	30.2				7.9	
	(地上部)	7.4				(0)	
	駅数(駅)	17				10	
軌間・電気	ホームドア(柵)設置駅数(駅)	17				0	
	軌間(m)	1.435				1.435	
	電気方式(V)	直流1,500				直流1,500	
車両	集電方式	架空線				架空線	
	保有車両(車両)	174				40	
	(電動車両)	(87)				(40)	
	車両長(m)	19				15.8	
保安装置	定員(人)	124～140(平均134.6)				84～97(平均90.5)	
	ATS・ATC	高周波連続誘導式ATC				高周波連続誘導式ATC	
運転概要	列車通信	誘導無線式				空間波無線方式	
	編成両数(両)	6				4	
	運転間隔(分・秒) (平日)	谷上～ 新神戸	新神戸～ 名谷	名谷～ 学園都市	学園都市～ 西神中央		
	朝混雑時	5～12	3～4	3～4	3～4	6	
	昼間時	15	7～8	7～8	7～8	10	
	夕混雑時	5～12	5～6	5～6	5～6	7～8	
	運転所要時間(分・秒)	8.0		33.5(東行) 34.0(西行)		15.0	
平均速度(km/h)	59.3(東行) 60.0(西行)	49.8(東行) 49.4(西行)		37.7(東行) 36.9(西行)			
表定速度(km/h)	54.5(東行) 55.1(西行)	40.5(東行) 40.1(西行)		32.1(東行) 31.3(西行)			
最高速度(km/h)	75.0		90.0		70.0		
令和5年度1日当り 平均輸送人員(千人)	284				48		
令和5年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)	856				63		

# 神戸市高速鉄道路線図



路線名	路線種別	営業キロ	区間	開通時期
西神・山手線	西神延伸線	5.9km	学園都市～西神中央	S62.3.18
	西神線	3.5km	名谷～学園都市	S60.6.18
		5.7km	名谷～新長田	S52.3.13
	山手線	4.3km	新長田～大倉山	S58.6.17
		3.3km	大倉山～新神戸	S60.6.18
計		22.7km	西神中央～新神戸	—
北神線		7.5km	新神戸～谷上	(S63.4.2) R2.6.1
海岸線		7.9km	新長田～和田岬～三宮・花時計前	H13.7.7

# 福岡市

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源			
									企業債	出資金	その他	
空港線 (1号線)	姪浜～博多	11.8	2,676	昭和60年3月3日開通			2,676	227	2,190	243	243	
	博多～福岡空港	3.1	571	平成5年3月3日全通			571	184	428	92	51	
箱崎線(2号線)		5.2	866	昭和61年11月12日全通			866	167	767	85	14	
七隈線 (3号線)	橋本～天神南	12.7	2,811	平成17年2月3日全通			2,811	221	1,653	547	611	
	天神南～博多	1.4	335	令和5年3月27日全通			602	430	197	119	286	
				122	142	3						0
合計		34.2	7,259	122	142	3	0	7,526	220	5,235	1,086	1,205

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1)新線

「計画なし」

### 2-3)建設計画

「計画なし」

### 2-2)営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
安全・安心の確保	百万円 5,320	新造車両の製作等
快適で質の高いサービスの提供	344	優先席・スペースの改修等
まちづくりへの貢献	929	地下鉄用電力の際にエネルギー由来電力導入割合の増加等
収益の確保	110	タッチ決済乗車サービスの本格導入等
合計	6,703	

福岡市

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

年度	区分		営業キロ		路線数	駅数	保有車両数 両	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税込)		最多編成 車両数 両	備考
	営業キロ	内地上部分	年間	1日平均				年間	1日平均					
											千円	千円		
令和元年度	29.8	1.1	3	36 (35)	212	173,294	473	904	31,519,810	86,120	6			
令和2年度	29.8	1.1	3	36 (35)	212	110,919	304	594	20,384,228	55,847	6			
令和3年度	29.8	1.1	3	36 (35)	220	122,497	336	651	22,989,234	62,984	6			
令和4年度	31.4	1.1	3	38 (36)	228	145,692	399	761	28,011,687	76,744	6			
令和5年度	31.4	1.1	3	38 (36)	228	176,426	482	879	34,386,906	93,953	6			
令和6年度 予定	31.4	1.1	3	38 (36)	228	179,033	491	-	34,462,113	94,417	6			

(注):( )は同一駅名を1駅とした場合の駅数

## 4. 相互乗入れ運転

(令和6年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
(空 港 線 )	J R 九 州	13.1	20.1
合 計		13.1	20.1

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
		受変電圧 (KV)	66	66
受電箇所数		7	7	7
使用電力量 (MWh)	電車用	39,346	41,505	42,628
	付帯用	44,029	46,474	48,746
	計	83,375	87,979	91,374
電気料金 (百万円)		1,856	1,960	1,871

※電気料金は、税込み

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

項目	年度	令和5年度	令和6年度 見込
		エスカレーター	218 箇所
エレベーター		84 箇所	84 箇所
身障者用	トイレ	70 箇所	70 箇所
	点字券売機	150 箇所	148 箇所
	斜路	- 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
	チャイム等	- 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
	点字運賃表	47 箇所	47 箇所
基準適合段差解消駅		36 駅	36 駅
自転車 置場	設置駅数	36 駅	36 駅
	収容台数	26,066 台	27,124 台

(注)チャイム等はエレベーター及び地上出入口に設置している音声案内(専用発信器等を利用)

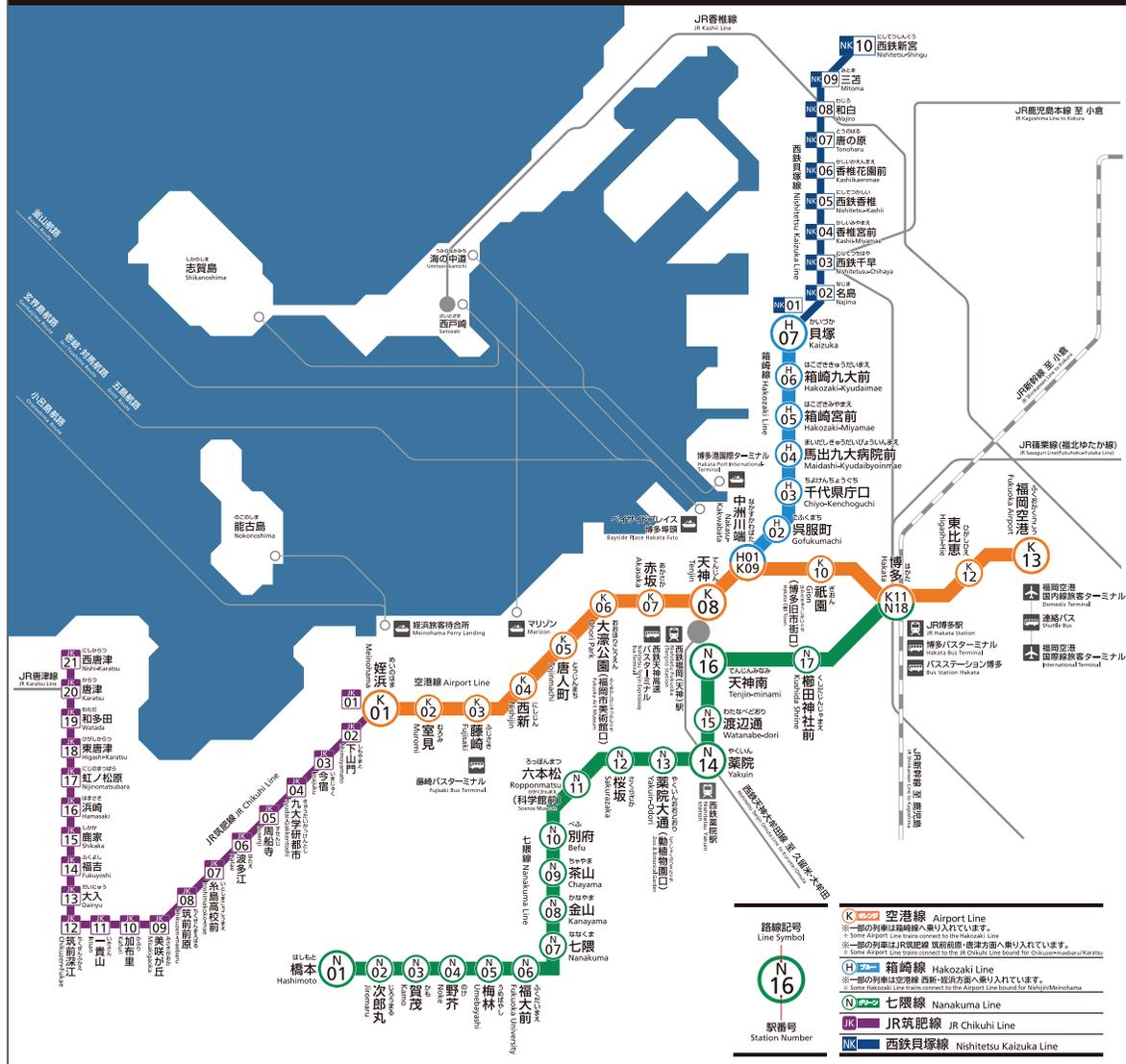
## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

線名		空港線(1号線)	箱崎線(2号線)	七隈線(3号線)
項目				
線区概要	営業区間	姪浜～福岡空港	中洲川端～貝塚	橋本～博多
	営業キロ(km)	13.1	4.7	13.6
	(地上部)	(0.7)	(0.4)	(0.0)
	駅数(駅)	13	7(中洲川端含む)	18(博多含む)
軌間・電気	ホームドア(柵)設置駅数(駅)	13	7	18
	軌間(m)	1.067	1.067	1.435
	電気方式(V)	直流1,500	直流1,500	直流1,500
車両	集電方式	架空線	架空線	架空線
	保有車両(車両)	144		84
	(電動車両)	(96)		(84)
	車両長(m)	20		16.5
保安装置	定員(人)	135～146		81～100
	ATS・ATC	ATC	ATC	ATC
運転概要	列車通信	誘導無線式	誘導無線式	空間波無線式
	編成両数(両)	6	6	4
	運転間隔(分・秒) (平日)			
	朝混雑時	3.00～3.50	7.30	3.00
	昼間時	4.55～7.15	7.25	6.00～7.30
	夕混雑時	4.05～5.50	7.30	5.00
運転所要時間(分・秒)	東行 24.55 西行 24.40	北行 10.05 南行 9.50	東行 28.34 西行 28.26	
平均速度(km/h)	東行 38.8 西行 39.3	北行 33.5 南行 34.5	東行 36.5 西行 36.7	
表定速度(km/h)	東行 31.5 西行 31.9	北行 28.0 南行 28.7	東行 28.6 西行 28.7	
最高速度(km/h)	75.0	75.0	70.0	
令和5年度1日当り平均輸送人員(千人)	321	35	126	
令和5年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)	568	59	252	

(注)平均輸送人員は乗り継ぎなし。

# 路線図 Route Map



- 路線記号 Line Symbol
- 空港線 Airport Line  
※一部の列車は路線種入裏入れています。  
※Some Airport Line trains connect to the Hakozaki Line.
  - 箱崎線 Hakozaki Line  
※一部の列車は空港線 箱崎駅へ入ります。  
※Some Hakozaki Line trains connect to the Airport Line bound for Shinjima-Meisho.
  - 七隈線 Nanakuma Line
  - JR筑肥線 JR Chikuhi Line
  - 西鉄貝塚線 Nishitetsu Kaizuka Line
- 駅番号 Station Number

# 埼玉高速鉄道株式会社

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
埼玉高速鉄道線	キロ 14.6	2,561	平成13年3月28日全通				2,561	175	0	610	1,951
合計	14.6	2,561					2,561	175	0	610	1,951

(注)平成13年3月28日開業

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1(1)新線

「計画なし」

### 2-1(3)建設計画

「計画なし」

### 2-2(2)営業線

(税抜き)

項目	予算額	事業内容
	百万円	
合計	-	

埼玉  
高速

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

路線名	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数 両	輸送人員		輸送人キロ		乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数 両	備考
	営業キロ キロ	内地上部分 キロ				年間 千人	1日平均 千人	年間 百万人キロ	年間 千円	1日平均 千円			
令和元年度	14.6	0.4	1	8 (7)	60	44,589	122	322	9,043,574	24,709	6		
令和2年度	14.6	0.4	1	8 (7)	60	34,033	93	243	6,738,776	18,462	6		
令和3年度	14.6	0.4	1	8 (7)	60	35,377	97	249	7,296,580	19,991	6		
令和4年度	14.6	0.4	1	8 (7)	60	39,430	108	278	8,082,566	22,144	6		
令和5年度	14.6	0.4	1	8 (7)	60	42,654	117	302	8,771,361	23,965	6		
令和6年度 予定	14.6	0.4	1	8 (7)	60	—	—	—	8,915,000	24,425	6		

(注):( )は同一駅名を1駅とした場合の駅数

※決算額は税抜き

## 4. 相互乗入れ運転

(令和6年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者	乗入者	自社線内他社線内 乗入キロ数	
		キロ	キロ
埼玉高速鉄道線	東京地下鉄	14.6	21.3
	東急電鉄	14.6	17.7
	相模鉄道	14.6	-
合計		—	39

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
		受変電圧 (KV)	66	66
受電個所数		2	2	2
使用電力量 (MWH)	電車用	15,626	15,552	18,662
	付帯用	13,985	13,726	13,768
	計	29,611	29,278	32,430
電気料金 (百万円)		713	650	763

※電気料金は、税抜き

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

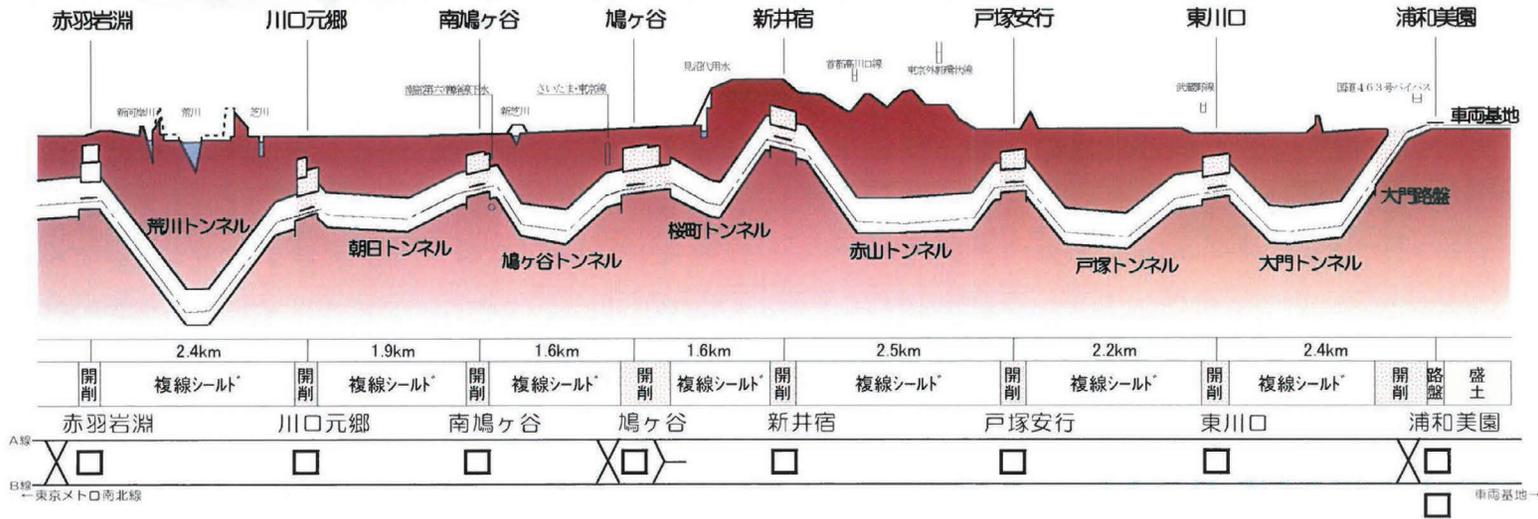
項目	年度	令和5年度		令和6年度 見込	
		エスカレーター	46 箇所		46 箇所
エレベーター	16 箇所		16 箇所		
身障者用	トイレ	9 箇所		9 箇所	
	点字券売機	7 箇所		7 箇所	
	斜路	2 箇所	1 駅	2 箇所	1 駅
	チャイム等 その他	- 箇所	- 駅	- 箇所	- 駅
基準適合段差解消駅	0 駅		0 駅		
自転車 置場	設置駅数	1 駅		1 駅	
	収容台数	274 台		274 台	

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

線名		埼玉高速鉄道線		
項目				
線区概要	営業区間	赤羽岩淵～浦和美園		
	営業キロ(km) (地上部)	14.6 (0.4)		
	駅数(駅)	7+1(共同使用駅)		
	ホームドア(柵) 設置駅数(駅)	7+1(共同使用駅)		
軌間・電気	軌間(m)	1.067		
	電気方式(V)	直流1,500		
	集電方式	架空線		
車両	保有車両(車両)	60		
	(電動車両)	(30)		
	車両長(m)	20		
	定員(人)	882(1編成当り)		
保安装置	ATS・ATC	連続誘導式ATC(CS-ATC)		
	列車通信	空間波無線式システム		
運転概要	編成両数(両)	6		
	運転間隔(分・秒) (平日)	3.45(赤羽岩淵～鳩ヶ谷) 4.40(鳩ヶ谷～浦和美園)		
	朝混雑時 (平日)	12.00(赤羽岩淵～浦和美園)		
	昼間時	5.00(赤羽岩淵～浦和美園)		
	夕混雑時	19.15		
運転所要時間(分・秒)				
平均速度(km/h)	54.2			
表定速度(km/h)	45.5			
最高速度(km/h)	80.0			
令和5年度1日当り 平均輸送人員(千人)	117			
令和5年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)	302			

# 埼玉高速鉄道線 赤羽岩淵・浦和美園間 概要図



# 広島高速交通株式会社

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
広島新交通1号線	キロ 18.7	788	平成6年8月20日全通				788	42	584	100	104
合計	18.7	788					788	42	584	100	104

(注)平成13年3月28日開業

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1(1)新線

「計画なし」

### 2-1(3)建設計画

「計画なし」

### 2-2(2)営業線

(税抜き)

項目	予算額	事業内容
旅客サービス	百万円	
安全対策		
その他	4,319	老朽化対策等
合計	4,319	

広島  
高速

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

路線名	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地上部分 キロ				年間	1日平均	年間	年間	1日平均		
令和元年度	18.4	16.5	1	22	150	24,014	66	171	4,441,936	12,136	6	
令和2年度	18.4	16.5	1	22	150	18,397	50	130	3,367,605	9,226	6	
令和3年度	18.4	16.5	1	22	150	19,420	53	137	3,596,238	9,853	6	
令和4年度	18.4	16.5	1	22	150	21,566	59	152	4,072,537	11,158	6	
令和5年度	18.4	16.5	1	22	150	23,344	64	163	4,377,823	11,961	6	
令和6年度 予定	18.4	16.5	1	22	150	23,866	65	—	4,577,814	12,542	6	

※決算額は税抜き

## 4. 相互乗入れ運転

[該当なし]

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
		受変電圧 (KV)	22	22
受電箇所数		2	2	2
使用電力量 (MWH)	電車用	7,969	7,710	7,444
	付帯用	9,320	9,205	9,064
	計	17,290	16,915	16,690
電気料金 (百万円)		401	403	398

※電気料金は、税抜き

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

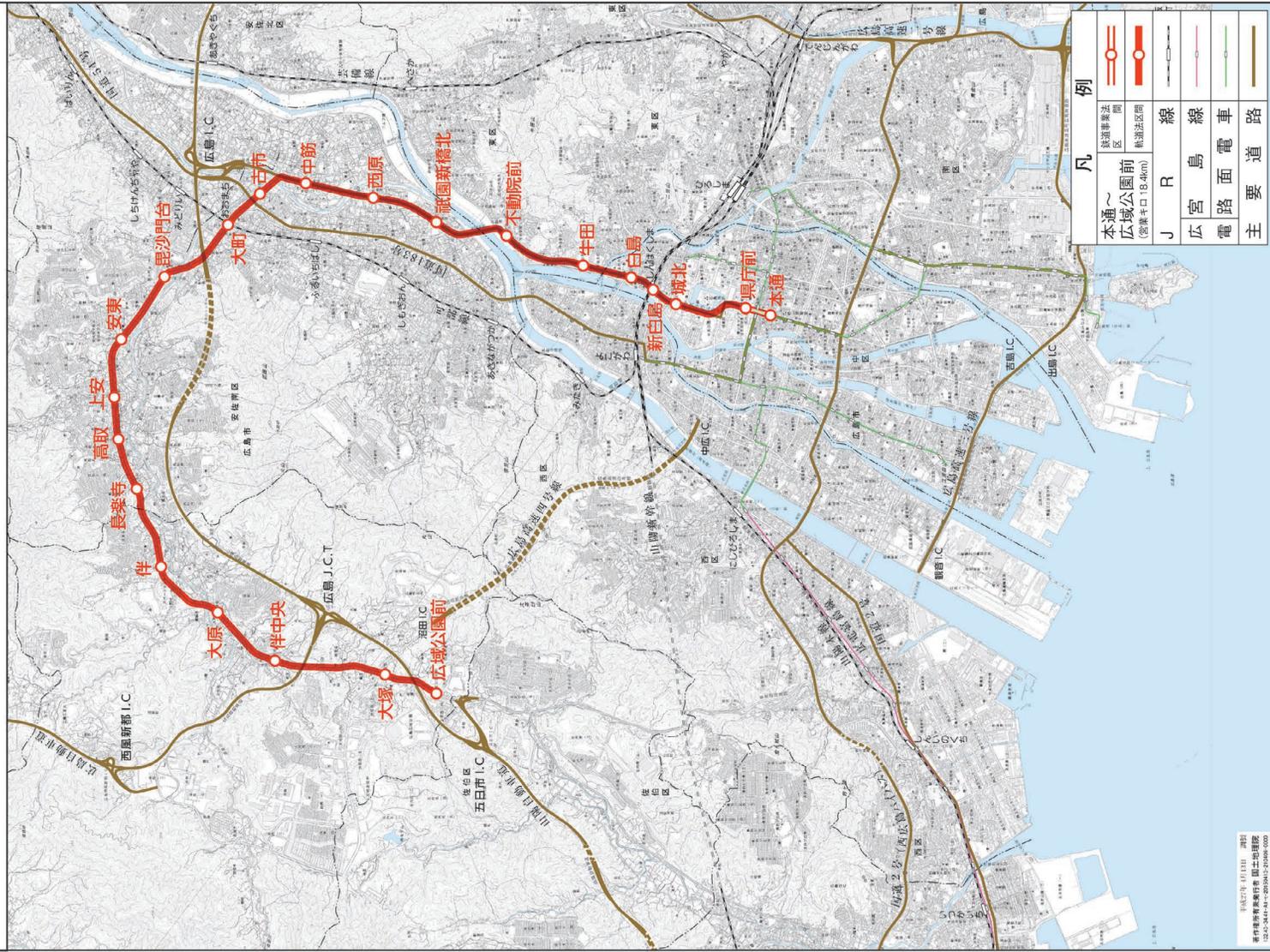
項目	年度	令和5年度	令和6年度 見込
		エスカレーター	43箇所
エレベーター		45箇所	45箇所
身障者用	トイレ	22箇所	22箇所
	点字券売機	55箇所	55箇所
	斜路	-箇所	-箇所
	チャイム等	-箇所	-箇所
	その他		
基準適合段差解消駅		22駅	22駅
自転車 置場	設置駅数	19駅	19駅
	収容台数	7,020台	7,020台

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

項目		線名	広島新交通1号線		
線区概要	営業区間		本通～広域公園前		
	営業キロ(km)		18.4		
	(地上部)		( 16.5 )		
	駅数(駅)		22		
	ホームドア(柵)		22		
軌間・電気	軌間(m)		—		
	電気方式(V)		直流 750		
	集電方式		剛体複線式		
車両	保有車両(車両)		150		
	(電動車両)		( 150 )		
	車両長(m)		8.4 ～ 8.6		
	定員(人)		先頭車 43～44,中間 50		
保安装置	ATS・ATC		連続誘導式 ATC		
	列車通信		誘導無線式		
運転概要	編成両数(両)		6		
	運転間隔(分・秒)				
	(平日)				
	朝混雑時		2.30 ～ 4.00		
	昼間時		10.00		
	夕混雑時		5.00 ～ 7.00		
	運転所要時間(分・秒)		普通便 37～39分		
	平均速度(km/h)		38.3		
	表定速度(km/h)		30.0		
	最高速度(km/h)		60.0		
	令和5年度1日当り平均輸送人員(千人)		64		
	令和5年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)		163		

# 広島新交通1号線 本通 本通～広域公園前 路線図



平成二十七年五月 広島高速交通株式会社

# 横浜高速鉄道株式会社

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
みなとみらい21線	キロ 4.2	2,563	平成16年2月1日全通				2,563	610	1,618	272	673
合計	4.2	2,563					2,563	610	1,618	272	673

(注)平成13年3月28日開業

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1)新線

「計画なし」

### 2-3)建設計画

「計画なし」

### 2-2)営業線

(税抜き)

項目	予算額	事業内容
駅務機器改修	百万円 551	機能追加、老朽化更新他
車両改造	11	列車無線工事、車外表示器更新他
その他		
合計	562	

横浜  
高速

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

路線名	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数 (他社乗入車両)	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
	キロ	キロ				千人	千人		百万人キロ	千円		
令和元年度	4.1	0	1	6	48	80,610	220	212	10,958,061	29,940	8 (10)	
令和2年度	4.1	0	1	6	48	52,049	143	138	6,603,109	18,091	8 (10)	
令和3年度	4.1	0	1	6	48	57,048	156	152	7,598,162	20,817	8 (10)	
令和4年度	4.1	0	1	6	48	68,552	188	181	9,575,181	26,233	8 (10)	
令和5年度	4.1	0	1	6	48	76,523	209	199	11,458,339	31,307	8 (10)	
令和6年度 予	4.1	0	1	6	48	76,484	210	199	11,438,000	31,337	8 (10)	

(注): 乗車料収入は消費税抜きである。駅数の( )内は同一駅名を1駅とした場合の数

※決算額は税抜き

## 4. 相互乗入れ運転

(令和6年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
		キロ	キロ
みなとみらい線	東武鉄道	4.1	51.6
	西武鉄道	4.1	40.3
	東京地下鉄	4.1	20.2
	東急電鉄	4.1	24.2
合計		—	136.3

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
区分				
受変電圧 (KV)		20	20	20
受電箇所数		2	2	2
使用電力量 (MWH)	電車用	12,554	13,053	13,130
	付帯用	11,961	13,287	13,258
	計	24,515	26,340	26,388
電気料金 (百万円)		740	601	667

※電気料金は、税抜き

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

年度		令和5年度	令和6年度 見込
項目			
エスカレーター		91基	91基
エレベーター		6駅	6駅
身障者用	トイレ	21箇所	21箇所
	点字券売機	14箇所	14箇所
	斜路	32箇所	32箇所
	チャイム等	-箇所 -駅	-箇所 -駅
その他			
基準適合段差解消駅		6駅	6駅
自転車 置場	設置駅数	-駅	-駅
	取容台数	-台	-台

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

項目		線名		
線 区 概 要	営業区間	みなとみらいV21線		
	営業キロ(km)	横浜～元町・中華街		
	(地上部)	4.1		
	駅数(駅)	0		
軌 間 ・ 電 気	ホームドア(柵) 設置駅数(駅)	6		
	軌間(m)	1,067		
車 両	電気方式(V)	直流1,500		
	集電方式	架空線		
	保有車両(車両) (電動車両)	48 (24)		
	車両長(m)	20(先頭車20.2)		
保 安 装 置	定員(人)	141～152/両		
	ATS・ATC	連続誘導式 CS-ATC		
運 転 概 要	列車通信	空間波無線式		
	編成両数(両)	8両及び10両		
	運転間隔(分・秒) (平日)	3分00秒		
	朝混雑時 昼間時	3分45秒		
	夕混雑時	3分45秒		
	運転所要時間(分・秒) (急行)	上り 6分05秒 下り 6分25秒		
平 均 速 度 ( 急 行 )	平均速度(km/h)	上り40.4 下り38.3		
	表定速度(km/h)	—		
	(急行)			
	最高速度(km/h)	70		
令 和 5 年 度 1 日 当 り 平 均 輸 送 人 員 ( 千 人 )	209			
令 和 5 年 度 路 線 別 輸 送 人 キ ロ ( 百 万 人 キ ロ )	199			

## みなとみらい21線 路線図



# 東葉高速鉄道株式会社

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
東葉高速線	キロ 16.1	3,168	平成8年4月27日全通				3,168	197			
合計	16.1	3,168					3,168	197			

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1) 新線

「計画なし」

### 2-3) 建設計画

「計画なし」

### 2-2) 営業線

(税抜き)

項目	予算額	事業内容
	百万円	
安全対策	3,534	運行管理システム・電力管理システム更新ほか
旅客サービス	426	PASMO関連改修ほか
その他	586	高架下店舗新設、海老川新駅設置工事ほか
合計	4,546	

東葉  
高速

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

区分 路線名	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数 両	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数 (他社乗入車両) 両	備考
	営業キロ キロ	内地上部分 キロ				年間 千人	1日平均 千人	年間 百万人キロ	年間 千円	1日平均 千円		
令和元年度	16.2	10.5	1	9	110	57,148	157	522	15,954,812	44,035	10 (10)	
令和2年度	16.2	10.5	1	9	110	42,381	117	382	11,750,386	32,468	10 (10)	
令和3年度	16.2	10.5	1	9	110	44,418	123	394	12,522,696	34,576	10 (10)	
令和4年度	16.2	10.5	1	9	110	50,676	140	449	14,202,694	39,206	10 (10)	
令和5年度	16.2	10.5	1	9	110	54,080	149	481	15,293,930	42,159	10 (10)	
令和6年度 予定	16.2	10.5	1	9	110	55,071	152	-	15,626,170	43,128	10 (10)	

(注):乗車料収入は消費税抜きである。

## 4. 相互乗入れ運転

(令和6年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者	自社線内 乗入キロ数		他社線内 乗入キロ数	
	キロ	キロ	キロ	キロ
東葉高速線	東京地下鉄 東西線	16.2	30.8	
合計	16.2	30.8		

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
	受変電圧 (KV)		66	66
受電箇所数		2	2	2
使用電力量 (MWH)	電車用	17,543	17,277	19,457
	付帯用	10,926	11,740	11,061
	計	28,469	29,017	30,518
電気料金 (百万円)		-	-	-

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

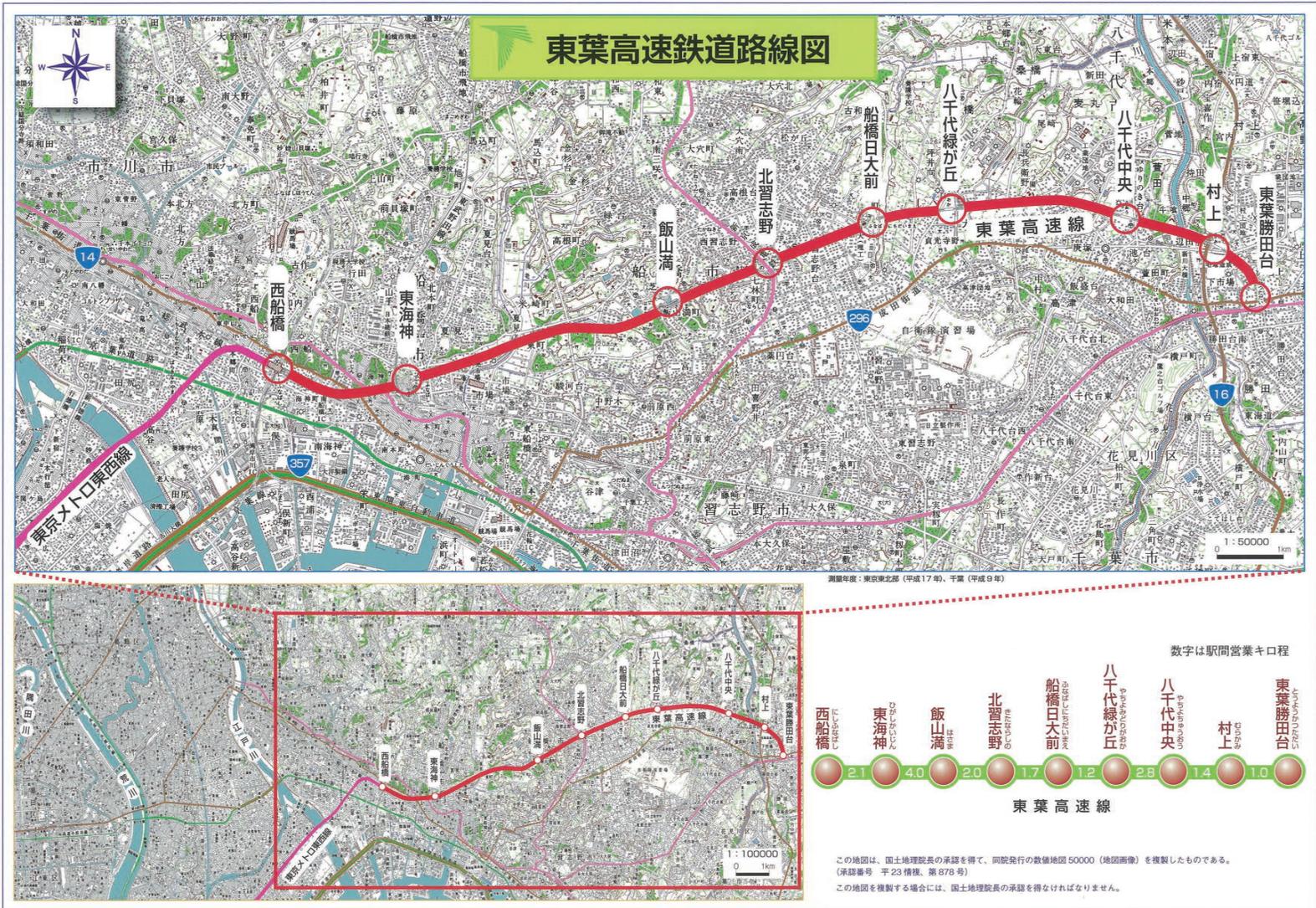
項目	年度	令和5年度	令和6年度 見込
	エスカレーター		28基 8駅
エレベーター		16箇所	16箇所
身障者用	トイレ	9箇所	9箇所
	点字券売機	10箇所	10箇所
	斜路	4箇所 3駅	4箇所 3駅
	チャイム等	71箇所 8駅	71箇所 8駅
その他		-	-
基準適合段差解消駅		-駅	-駅
自転車 置場	設置駅数	2駅	2駅
	収容台数	340台	340台

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

線名		東葉高速線		
項目				
線区概要	営業区間	西船橋～東葉勝田台		
	営業キロ(km)	16.2		
	(地上部)	10.5		
	駅数(駅)	9		
	ホームドア(柵) 設置駅数(駅)	0		
軌間・電気	軌間(m)	1.067		
	電気方式(V)	直流1,500		
車両	集電方式	架線方式		
	保有車両(車両)	110		
	(電動車両)	55		
	車両長(m)	20		
	定員(人)	143(先頭)、154(中間)		
保安装置	ATS・ATC	WS-ATC		
	列車通信	誘導無線		
運転概要	編成両数(両)	11編成(110両)		
	運転間隔(分・秒) (平日)	5分00秒		
	朝混雑時			
	昼間時	15分00秒		
	夕混雑時	6分00秒		
	運転所要時間(分・秒) (急行)	21分00秒 (-)		
平均速度(km/h)	(急行)	53.3		
	(急行)	(-)		
	表定速度(km/h)	44.2		
	(急行)	(-)		
	最高速度(km/h)	100		
令和5年度1日当り 平均輸送人員(千人)		149		
令和5年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)		481		

※「電動車両には、制御電動車を含む。」



# 北総鉄道株式会社

## 1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路線別	延長	令和2年度 までの累計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
北総線	キロ 20.2	1,437	平成3年3月31日全通			1,437	71	1,391		46	
合計	20.2	1,437				1,437	71	1,391		46	

## 2. 令和6年度事業計画

### 2-1)新線

「計画なし」

### 2-3)建設計画

「計画なし」

### 2-2)営業線

(税抜き)

項目	予算額	事業内容
	百万円	
合計	-	

## 3. 輸送人員等の推移

(令和6年4月1日現在)

年度	区分	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数 (他車乗入車両)	備考
		営業キロ	内地上部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
令和元年度		キロ	キロ			両	千人	千人	百万人キロ	千円	千円	両	
令和元年度		32.3	28.9	1	15	104	39,130	107	505	12,677,718	34,639	8 (8)	
令和2年度		32.3	28.9	1	15	104	30,030	82	377	9,471,519	25,949	8 (8)	
令和3年度		32.3	28.9	1	15	104	30,944	85	383	10,103,418	27,681	8 (8)	
令和4年度		32.3	28.9	1	15	104	35,314	97	439	10,446,705	28,621	8 (8)	
令和5年度		32.3	28.9	1	15	104	38,625	106	476	10,530,906	28,773	8 (8)	
令和6年度 予定		32.3	28.9	1	15	104	39,180	107	-	10,728,953	29,394	8 (8)	

(注):乗車料収入は消費税抜きである。

## 4. 相互乗入れ運転

(令和6年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者	自社線内	他社線内
	乗入キロ数	乗入キロ数
北総線	京成電鉄	6.9
	東京都交通局	18.3
	京浜急行電鉄	15.7
	合計	40.9

## 5. 電力使用状況

(令和6年4月1日現在)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 見込
		受変電圧 (KV)	140 60	140 60
受電箇所数		6	6	6
使用電力量 (MWH)	電車用	40,170	40,845	41,653
	付帯用	8,334	7,978	8,156
	計	48,504	48,823	49,809
電気料金 (百万円)		1,201	1,073	989

※電気料金は税抜き

## 6. 駅施設

(令和6年4月1日現在)

項目	年度	令和5年度	令和6年度 見込
		エスカレーター	28基 11駅
エレベーター		33箇所 (33基14駅)	33箇所 (33基14駅)
身体障害者	トイレ	14箇所 (14基14駅)	14箇所 (14基14駅)
	点字券売機	14箇所 (31台14駅)	14箇所 (31台14駅)
	斜路	13箇所 7駅	13箇所 7駅
	チャイム等 その他	155箇所 14駅	155箇所 14駅
基準適合段差解消駅		14駅	14駅
自転車 置場	設置駅数	14駅	14駅
	収容台数	-駅	-駅

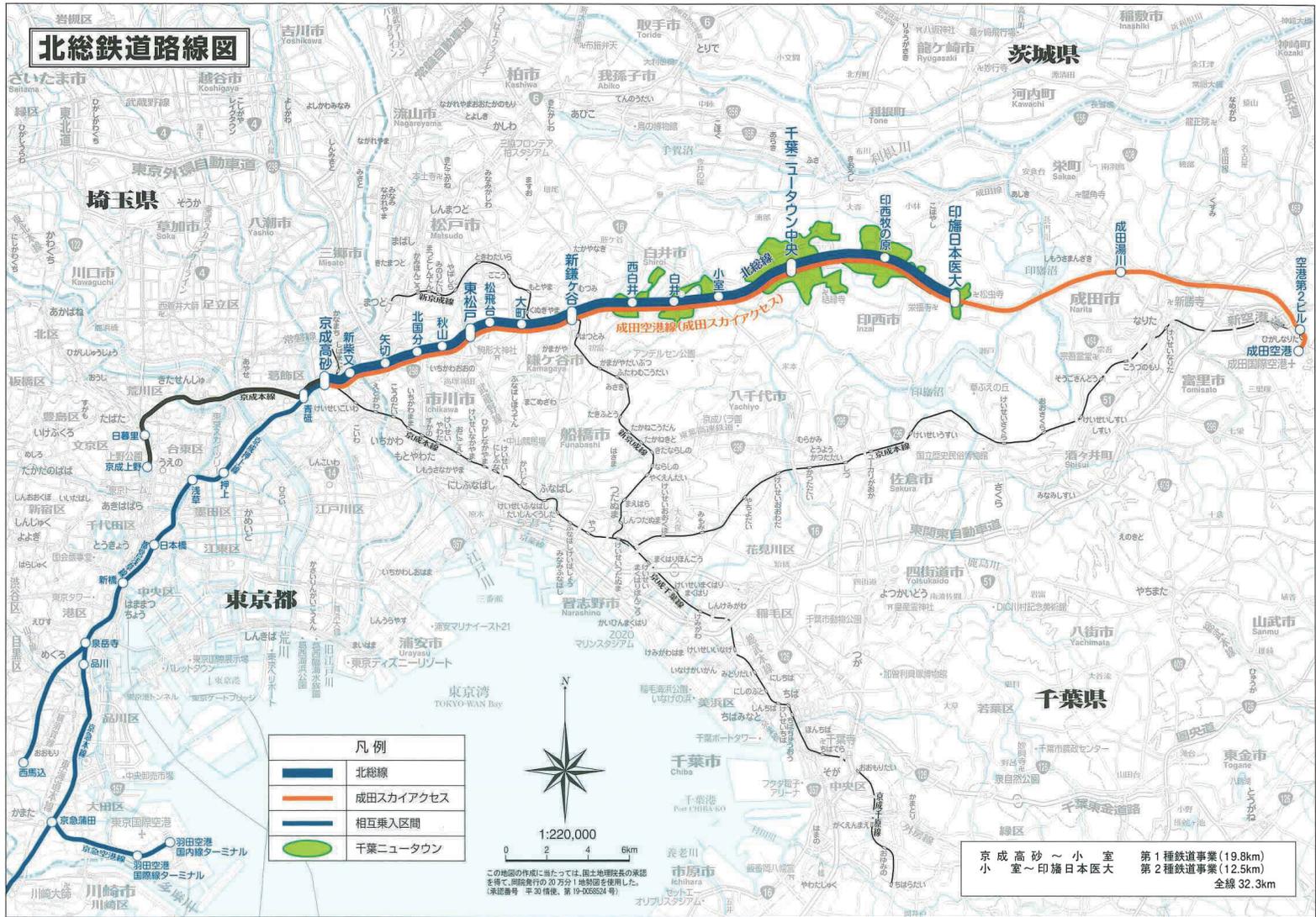
(注)上記は、京成高砂駅を除く14駅の整備状況。

## 7. 営業線の概要

(令和6年4月1日現在)

項目		線名	北総線	
線区概要	営業区間		京成高砂～印旛日本医大間	
	営業キロ(km)		32.3	
	(地上部)		28.903	
	駅数(駅)		15	
	ホームドア(柵)		なし	
	設置駅数(駅)			
軌間・電気	軌間(m)		1.435	
	電気方式(V)		直流1,500	
	集電方式		架空単線式	
車両	保有車両(車両)		104	うち京成電鉄からの賃借車両24両 千葉ニュータウン鉄道保有車両40両
	(電動車両)		78	うち京成電鉄からの賃借車両18両 千葉ニュータウン鉄道保有車両30両
	車両長(m)		18	
	定員(人)		最大136	
保安装置	ATS・ATC		1号型ATS、C-ATS	
	列車通信		空間波方式	
運転概要	編成両数(両)		8	
	運転間隔(分・秒)			
	(平日)			
	朝混雑時		普通10.00 特急20.00	
	昼間時		普通20.00	
夕混雑時		普通10.00～20.00 特急60.00		
運転所要時間(分・秒)		特急29.30(上り)、29.40(下り)		
(急行)		普通34.40(上り)、35.10(下り)		
平均速度(km/h)	(急行)		特急73.4(上り)、72.4(下り)	
	表定速度(km/h)		普通64.4(上り)、63.4(下り)	
	(急行)		特急65.7(上り)、65.3(下り)	
	最高速度(km/h)		普通55.9(上り)、55.1(下り)	
			105	
令和5年度1日当り平均輸送人員(千人)			106	
令和5年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)			476	

(注)「電動車両」には、制御電動車を含む。



# 地下鉄関係等国の予算

(国土交通省)

(総務省)

地下鉄及び空港アクセス鉄道等補助対象事業の現状

(令和6年4月1日)

区分	補助対象事業者	営業キロ (km)		建設路線	建設区間	建設キロ (km)		開業予定
地下高速鉄道	札幌市	3線	48.0	有楽町線 南北線	豊洲～東陽町～住吉 品川～白金高輪	1線 1線	4.8 2.5	2030年代半ば 2030年代半ば
	仙台市	2線	28.7					
	東京都	4線	109.0					
	東京地下鉄	9線	195.0					
	横浜市	3線	37.8					
	名古屋	6線	93.2					
	京都	2線	31.2					
	大阪市高速電気軌道(株)	8線	129.9					
	神戸市	3線	21.2					
	広島高速交通(株)	1線	0.3					
	福岡	3線	31.2					
	埼玉高速鉄道(株)	1線	14.6					
	上飯田連絡線(株)	1線	3.1					
	中之島高速鉄道(株)	1線	3.0					
西大阪高速鉄道(株)	1線	3.8						
	合計	48線	750.0			2線	7.3	
空港アクセス鉄道等	神戸市	1線	9.4					
	大阪府都市開発(株) (泉北高速鉄道(株))	1線	14.3					
	横浜市	2線	15.7					
	奈良生駒高速鉄道(株)	1線	8.6					
	中部国際空港連絡鉄道(株)	1線	4.2					
	仙台空港鉄道(株)	1線	7.1					
	成田高速鉄道アクセス(株)	1線	10.7					
		合計	8線	70.0				

(注)東京地下鉄副都心線及び京都市東西線(二条～太秦天神川)は、平成15年度からインフラ部を街路事業により整備

# 令和6年度 鉄道局関係予算施策別概要

単位:百万円

区 分	事業費		事業概要等
	事業費	国費	
<b>I. 豊かな田園都市国家を支える交通インフラの整備の推進</b>			
<b>1. 整備新幹線の整備の推進</b>			
(1) 整備新幹線の着実な整備 (整備新幹線整備事業費補助)	227,500	80,372	我が国の基幹的な高速輸送体系を形成する整備新幹線について、着実に整備を進める。
(2) 整備新幹線の建設推進及び高度化等			
① 北陸新幹線事業推進調査 (整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金)	1,435	1,435	北陸新幹線の施工上の課題の解決や実現可能な駅・ルートの検討が必要不可欠であり、従来、工事実施計画の認可後に行っていた調査も含め、用地確保に向けた調査、発生土の処理に向けた検討、地下水への影響確認、駅の位置や工法の検討に必要な調査等を先行的・集中的に行う。
② 青函共用走行区間における新幹線列車の高速走行調査・開発 (整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金) 令和5年度補正予算 国費:80百万円	20	20	新幹線列車と貨物列車とが共用走行する青函共用走行区間において、安全性を確保しつつ新幹線列車を高速走行させるため、時間帯区分方式の段階的拡大の可能性に係る調査・開発等を行う。
③ 経済設計調査等 (整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金)	147	147	整備新幹線に関する経済効果調査や輸送量調査等の経済設計調査や環境影響評価に係る手続きに必要な調査等を行う。
(3) 幹線鉄道ネットワーク等に関する調査 (鉄道整備等基礎調査委託費等)		246の内数	幹線鉄道等については、これまで、地域間の移動時間を大幅に短縮し、駅その他周辺地域の開発を促進することにより、我が国の経済活動や国民生活の向上に極めて大きな効果をもたらしてきた。基本計画路線及び幹線鉄道ネットワーク等の高機能化等の地域の実情に応じた今後の方向性について検討するため、効果的・効率的な整備・運行手法等に係る具体的な調査を行う。
<b>2. 都市鉄道ネットワークの充実</b>			
(1) 既存の都市鉄道網を活用した連絡線の整備等 (都市鉄道利便増進事業費補助(連絡性向上事業))	4,200	1,400	都市鉄道は、大都市における社会経済活動を根幹で支える主要なインフラであることから、路線間の連絡線の整備や相互直通化、地下鉄の整備等を推進し、都市鉄道ネットワークの充実や一層の利便性向上を図ることにより、大都市の活性化や競争力の強化を進める。  都市鉄道の路線間の連絡線整備や相互直通化を進め、既存の都市鉄道施設を有効活用しつつ、都市鉄道ネットワークの一層の充実を図る。
(2) 地下高速鉄道ネットワークの充実 (都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)) 令和5年度補正予算 国費:1,664百万円の内数	55,019の内数	13,864の内数	大都市圏中心部における移動の円滑化、通勤・通学混雑の緩和等を図るため、地下高速鉄道ネットワークの充実を推進する。  大阪都心部を南北に縦貫する新線を整備し、既存の鉄道路線と接続させることにより、関西国際空港や新大阪駅へのアクセス性の向上、大阪の南北都市軸の強化など、都市機能の一層の充実を図る。
① なにわ筋線の整備			令和3年7月交通政策審議会答申第371号に基づき、国際競争力強化の拠点である臨海副都心と都区部東部を結ぶ新線を整備することにより、臨海副都心と都区部東部等とのアクセス利便性の向上や東西線の混雑緩和など都市機能の一層の充実を図る。
② 東京メトロ有楽町線(豊洲～住吉)の延伸整備			同答申に基づき、六本木等都心部とリニア中央新幹線の始発駅となる品川駅を結ぶ新線を整備することにより、都市中心部の移動の円滑化や国際競争力強化の拠点である品川駅周辺地区と都心部とのアクセス利便性の向上など都市機能の一層の充実を図る。
③ 東京メトロ南北線(品川～白金高輪)の延伸整備			高密度ダイヤの運行や相互直通運転に伴う慢性的な列車遅延の増加等に対処するため、ホーム拡幅、折返し施設等の整備を推進する。
(3) 列車遅延対策の推進 (都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)) 令和5年度補正予算 国費:1,664百万円の内数	55,019の内数	13,864の内数	交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」(平成28年4月20日)において示された、東京圏の都市鉄道が目指すべき姿の実現に向け、諸般の社会情勢を踏まえた調査及び検討を行う。また、今後の国際拠点空港等の需要増に対応するため、空港アクセス鉄道構想の事業性等について調査を行う。
(4) 東京圏における今後の都市鉄道ネットワーク等のあり方に関する調査 (鉄道整備等基礎調査委託費等)		246の内数	

区 分	事業費		事業概要等
	事業費	国費	
<b>Ⅱ. デジタル田園都市国家構想の実現に向けた持続可能性と利便性の高い地域交通ネットワークの再構築の推進</b> <b>1. 鉄道事業者と地域の共創に対する支援</b> <b>(危機的状況にあるローカル鉄道に係る地域モビリティの刷新)</b> 【社会資本整備総合交付金506.453 百万円の内数】 (地域公共交通再構築事業、都市・地域交通戦略推進事業(※)) 【総政策局予算 21,405 百万円の内数】 (地域公共交通確保維持改善事業) 令和5年度補正予算 国費:31,854 百万円の内数			<p>ローカル鉄道の中には、人口減少等による長期的な需要減に加え、新型コロナウイルスの影響等も重なり、鉄道事業者の経営努力のみによっては、持続可能性と利便性の高いサービスの維持が困難な線区が出てきている。</p> <p>令和5年6月に閣議決定した骨太の方針において、地域公共交通について「ローカル鉄道の再構築など『リ・デザイン』の取組を加速化」することとされ、また、10月に施行された改正地域交通法に基づき、必要な場合には国も主体的に関与しながら、鉄道事業者と沿線自治体の共創を促し、単なる現状維持ではなく、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築を促進していくための支援を行う。</p> <p>具体的には、鉄道事業者、沿線自治体等の関係者による再構築に向けた協議会の開催、調査事業、実証事業の実施に関する費用を支援する。</p> <p>さらに、地域における協議・合意形成の過程を経て、地域が鉄道又は転換後のバス(BRT 含む)を地域の社会資本の一部として位置づけ、まちづくり・観光戦略の観点からその持続可能性と利便性・効率性を将来にわたって向上させるための取組みを主体的に実施する場合には、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本整備総合交付金(地域公共交通再構築事業)</li> <li>・先進車両導入支援事業等により支援を行う。</li> </ul> <p>その他、社会資本整備総合交付金(都市・地域交通戦略推進事業)等において、立地適正化計画に位置づけられた都市の骨格となる公共交通軸を形成する、鉄道・LRT・BRT等の走行空間(レーン・架線等)の整備等を支援する。</p> <p>(※)社会資本整備総合交付金は、地方公共団体が自ら作成した整備計画に対して、国が配分を行い、計画内の各事業については、地方公共団体が自由に配分することができるため、基幹事業毎の明確な予算規模は無い。</p>
<b>2. 地域の鉄道の安全性・利便性の向上の促進</b> <b>(1) 地域の鉄道の安全性の向上</b> <b>(鉄道施設総合安全対策事業費補助)</b> 令和5年度補正予算 国費:6,597 百万円の内数 【総政策局予算 21,405 百万円の内数】 (地域公共交通確保維持改善事業) 令和5年度補正予算 国費:31,854 百万円の内数  <b>(2) 地域の鉄道の利便性の向上</b> <b>① 地域の鉄道の利便性の向上(コミュニティ・レーン化)</b> <b>(幹線鉄道等活性化事業費補助)</b> 令和5年度補正予算 国費:592 百万円の内数  <b>② 移動の利便性向上・利用環境の改善</b> <b>【観光庁予算:1,374 百万円の内数】</b> <b>(地域における受入環境整備促進事業)</b> 令和5年度補正予算 国費:24,355 百万円の内数 <b>【観光庁予算:500 百万円の内数】</b> <b>(公共交通利用環境の革新等)</b>  <b>(3) JR北海道、JR四国及びJR貨物の経営支援</b> <b>【鉄道建設・運輸施設整備支援機構特例業務助定】</b>	13,495の内数	4,514の内数	<p>通勤・通学・通院のための利用など地域にとって欠くことのできない公共交通機関である地域鉄道等において、安全な鉄道輸送を確保するために行うレールやマクラギの更新、信号保安設備の整備など安全性の向上に資する設備の整備等に対して支援を行う。</p> <p>潜在的な鉄道利用ニーズが大きい地方都市やその近郊の路線等について、地域公共交通活性化・再生法の枠組みを活用して、地域の鉄道の利用促進や地域の活性化を図るべく、鉄道の利便性向上のための施設整備(新駅の設置等)に対し支援を行う。</p> <p>訪日外国人旅行者等の利用者に係る利便性向上や利用環境の改善を促進するため、インバウンド対応型鉄軌道車両の整備、低床式車両の導入を始めとするLRTシステムの整備及びICカードシステムの導入等に対して支援を行う。</p> <p>令和2年度末に成立した改正日本国有鉄道清算事業団の債務等に関する法律等により、JR北海道、JR四国及びJR貨物について、それぞれの経営自立に向けた取組みを進めるため、厳しい経営環境を踏まえつつ必要な支援を実施する。</p> <p>JR北海道及びJR貨物については、各社の経営改善に向けたこれまでの取組状況、新型コロナウイルスの影響等の社会経済情勢等、今後、各社が策定する令和6年度以降の中期経営計画やJR北海道の「黄線区」における総括的検証を踏まえ、令和6年度以降の具体的な支援について検討を進めていく。</p>
<b>3. 鉄道駅におけるバリアフリー化等の推進</b> <b>(1) 鉄道駅におけるバリアフリー化の推進</b> <b>(都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道))</b> 令和5年度補正予算 国費:1,664 百万円の内数  <b>(鉄道駅総合改善事業費補助)</b> 令和5年度補正予算 国費: 84 百万円の内数 【総政策局予算:21,405 百万円の内数】 (地域公共交通確保維持改善事業) 令和5年度補正予算 国費:31,854 百万円の内数  <b>【観光庁予算:1,374 百万円の内数】</b> <b>(地域における受入環境整備促進事業)</b> 令和5年度補正予算 国費:24,355 百万円の内数 <b>【観光庁予算:500 百万円の内数】</b> <b>(公共交通利用環境の革新等)</b>	55,019の内数	13,864の内数	<p>地域住民の日常生活や観光の拠点となっている鉄道駅において、エレベーター等の設置による段差解消、内方線付き点状ブロックの設置による転落防止、バリアフリートイレの設置等を推進し、ユニバーサル社会の実現や快適な旅行環境の整備を図る。</p> <p>また、地方部における支援措置の重点化を図るため、バリアフリー基本構想に位置づけられた鉄道駅におけるバリアフリー設備の整備については、補助率を最大1/3から最大1/2に拡充しており、これを活用し、鉄道駅のバリアフリー化の加速化を図る(鉄道駅総合改善事業費補助)。</p>

区 分	事業概要等	
	事業費	国費
(2)ホームドアの更なる整備促進 (都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)) 令和5年度補正予算 国費:1,664 百万円の内訳  (鉄道駅総合改善事業費補助)  (鉄道施設総合安全対策事業費補助) 令和5年度補正予算 国費:6,597百万円の内訳	55,019の内訳  6,070の内訳  13,495の内訳	13,864の内訳  2,101の内訳  4,514の内訳
(3)駅空間の質的進化(次世代ステーション創造事業) (鉄道駅総合改善事業費補助) 令和5年度補正予算 国費:84 百万円の内訳	6,070の内訳	2,101の内訳
<b>Ⅲ. 防災・減災、国土強靱化への投資の加速化</b>		
<b>1. 耐震・豪雨・浸水・老朽化対策の推進</b>		
(1)耐震対策の推進 (都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)) 令和5年度補正予算 国費:1,664 百万円の内訳  (鉄道施設総合安全対策事業費補助) 令和5年度補正予算 国費:6,597百万円の内訳	55,019の内訳  13,495の内訳	13,864の内訳  4,514の内訳
(2)豪雨対策の推進 (鉄道施設総合安全対策事業費補助) 令和5年度補正予算 国費:6,597百万円の内訳	13,495の内訳	4,514の内訳
(3)地下駅等の浸水対策の推進 (都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)) 令和5年度補正予算 国費:1,664 百万円の内訳  (鉄道施設総合安全対策事業費補助) 令和5年度補正予算 国費:6,597百万円の内訳	55,019の内訳  13,495の内訳	13,864の内訳  4,514の内訳
(4)戦略的なメンテナンス・老朽化対策の推進 ①鉄道施設の戦略的な維持管理・更新 (鉄道施設総合安全対策事業費補助) 令和5年度補正予算 国費:6,597百万円の内訳  ②青函トンネルの機能保全 (鉄道防災事業費補助)	13,495の内訳  1,466の内訳	4,514の内訳  923の内訳
(5)事故防止のための踏切保安設備の整備促進 (鉄道施設総合安全対策事業費補助)	13,495の内訳	4,514の内訳
(6)海岸等保全・落石・なだれ等対策の推進 (鉄道防災事業費補助)	1,466の内訳	923の内訳
<b>2. 鉄道の災害復旧の支援</b>		
(1)鉄道軌道整備法等による鉄道の災害復旧支援 (鉄道施設災害復旧事業費補助)	4,000の内訳	1,000の内訳
<p>ホームにおける転落・接触等は、視覚障害者のみならず一般利用者においても多く発生している。転落・接触等の防止効果の高いホームドアについて、一般利用者を含めた全ての利用者の安全性の向上を図るための施設として、更なる整備を促進する。</p> <p>また、地方部における支援措置の重点化を図るため、バリアフリー基本構想に位置付けられた鉄道駅におけるバリアフリー設備の整備については、補助率を最大1/3から最大1/2に拡充しており、これを活用し、鉄道駅のバリアフリー化の加速化を図る(鉄道駅総合改善事業費補助及び鉄道施設総合安全対策事業費補助)。</p> <p>駅空間の質的進化を目指す、まちとの一体感があり、全ての利用者にやさしく、分かりやすく、心地よく、ゆとりある次世代ステーションの創造を図るため、駅改良と併せて行うバリアフリー施設、駅空間高度化機能施設の整備について支援する。</p> <p>また、地方部における支援措置の重点化を図るため、バリアフリー基本構想に位置付けられた鉄道駅におけるバリアフリー設備の整備については、補助率を最大1/3から最大1/2に拡充しており、これを活用し、鉄道駅のバリアフリー化の加速化を図る。</p> <p>「新幹線の地震対策に関する検証委員会」における中間とりまとめを踏まえ、令和5年3月に改正した特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令等に基づき、首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模地震に備え、地震時における鉄道利用者の安全確保等を図るため、主要駅や高架橋等の耐震対策を推進するとともに、地下鉄のトンネル等の耐震対策を引き続き推進する。</p> <p>激甚化・頻発化する豪雨災害から鉄道施設を防護し、鉄道の安全・安定輸送を確保するため、河川に架かる鉄道橋梁の流失・傾斜対策や、鉄道に隣接する斜面からの土砂流入防止対策を推進する。</p> <p>三大都市圏をはじめとする大都市圏では、地下駅等の地下空間が数多く存在し、河川の氾濫や津波等が発生した場合、深刻な浸水被害が懸念される。</p> <p>地下駅等の地下空間は、地上に比べ浸水のスピードが速く、一旦浸水が始まれば、利用客の避難が困難となり、鉄道の運行にも大きな影響が発生することが想定される。</p> <p>このため、各地方公共団体が定めるハザードマップ等により浸水被害が想定される駅出入口、トンネル坑口、換気口等の開口部、トンネル内及び電気設備について、浸水対策を推進し、防災・減災機能の強化を図る。</p> <p>鉄道の橋梁やトンネル等については、老朽化が進んでおり、これらの鉄道施設を適切に維持管理することが課題となっている。このため、地域の人口減少が進み経営環境が厳しさを増す地方の鉄道事業者に対して、鉄道事業の継続性等を確認した上で、将来的な維持管理費用を低減し長寿命化に資する鉄道施設の改良を支援する。</p> <p>青函トンネルは、延長約54kmの我が国最長の海底トンネルであり、北海道と本州を結ぶ唯一の陸路である。昭和63年の開通から30年以上が経過しており、湿度が高く、塩水が浸入する海底下という過酷な環境にあるため、青函トンネル特有の設備である火災検知装置や大型排水設備等の著しい劣化に加え、トンネル(先進導坑・作業坑)の変状が発生している。</p> <p>これらの設備の改修・更新等を計画的に実施することにより、青函トンネルの機能を適切に保全し、北海道と本州間の円滑かつ安定した人流・物流を確保する。</p> <p>踏切道における事故防止と交通の円滑化を図るため、踏切道改良促進法に基づき、遮断機や警報機等の踏切保安設備の整備(第4種踏切の第1種化等)を推進する。</p> <p>また、高齢者等の歩行者の踏切道事故を防止するための障害物検知装置や非常押しボタン等に加え、災害時に踏切道の状況を確認できるようにするための踏切監視用カメラ等の整備を推進する。</p> <p>旅客会社等が行う海岸等保全や落石・なだれ等対策に係る施設整備のうち、鉄道施設だけではなく、家屋、道路、耕地等の保全・保護にも資する事業を推進する。</p> <p>鉄道軌道整備法に基づく災害復旧事業費補助により、地震や豪雨などの災害で被災した鉄道の早期復旧を支援する。また、特に大規模な災害で甚大な被害を受けた鉄道については、特別な支援制度(事業構造の変更等の要件を満たすことを前提として補助率を高上げ)により、復旧を強力に支援する。</p>		

区 分	事業費		事業概要等
	事業費	国費	
(2)災害発生時における復旧支援活動の強化 (鉄道建設・運輸施設整備支援機構建設助定運営費交付金)			独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が有する技術力等を活用し、地方運輸局と連携して、災害により被災した鉄道施設の災害復旧を支援する。
<b>IV. 鉄道分野におけるGX、DXへの投資の加速化</b>			
<b>1. 鉄道資産を活用したGXの投資加速化</b>			2050年カーボンニュートラルの実現に向け、鉄道分野においては、令和4年3月に「鉄道分野におけるカーボンニュートラル加速化検討会」を設置し、令和5年5月に「鉄道分野のカーボンニュートラルが目指すべき姿」をとりまとめた。本とりまとめにおいては、①『鉄道事業そのものの脱炭素化』、②『鉄道アセットを活用した脱炭素化』、③『環境優位性のある鉄道利用を促した脱炭素化』を踏まえることとした。
(1)鉄道分野のCN加速化に関する調査 (鉄道整備等基礎調査委託費等)		246の内数	「鉄道分野のカーボンニュートラルが目指すべき姿」を踏まえ、鉄道車両の脱炭素化、鉄道資産を活用した再エネ導入や沿線地域と連携したグリーン電力の地産地消、鉄道利用によるCO <sub>2</sub> 排出削減効果の見える化等の取組について、調査・検討を行う。
(2)鉄道脱炭素施設等の実装に係る調査に対する支援 (鉄道技術開発費補助金(鉄道脱炭素施設等実装調査)) 令和5年度補正予算 国費:25百万円の内数	10	5	鉄軌道事業者等によるカーボンニュートラル実現に向けた取組を推進するため、鉄軌道事業者等に対して、鉄道脱炭素に資する施設等の整備等(例:再エネに係る発電設備、蓄電池、送電線の整備)に関する調査・検討に必要な経費の一部を補助する。
(3)鉄道車両におけるバイオディーゼル燃料の導入に向けた調査 (技術研究開発委託費) 令和5年度補正予算 国費:452百万円の内数		20の内数	電化区間においては、再生可能エネルギーの導入など電力の脱炭素化が進められているところであるが、非電化区間においては、ディーゼル燃料を動力源とする気動車が走行している。 非電化区間の脱炭素化に向け、鉄道車両における次世代バイオディーゼル燃料の導入を可能とするための調査を行っており、現在、エンジン単体試験及び気温の影響等を確認するための走行試験を実施中。令和7年度以降の実用化を目指し、令和6年度は、次世代バイオディーゼル燃料を鉄道車両で使用するにあたっての安全性・安定性を確認するため、複数の営業列車で長期走行試験を行う。
(4)鉄道脱炭素施設等の整備促進(環境省連携施策) エネルギー特別会計		1,495の内数	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、鉄道脱炭素に資する施設等の整備等を支援する。鉄軌道事業者に対して、電力消費を大幅に抑える設備・機器の整備に係る経費の一部を補助する。
<b>2. 物流革新に向けた貨物鉄道ネットワークの強化と更なる活用</b>			貨物鉄道は、全国ネットワークを有し、定時性に優れた大量輸送機関としての特性と優れた環境性能を兼ね備えており、いわゆる「物流の2024年問題」を踏まえたトラック長距離輸送からのモーダルシフトの促進や、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、大きな役割が期待されている。 「物流革新に向けた政策パッケージ」(令和5年6月「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」とりまとめ)を踏まえ、貨物鉄道の輸送特性を活かした物流の効率化を実現するため、貨物駅・ネットワークの災害対応能力を含む機能強化を図るとともに、輸送力の増強、トラック輸送との連携強化等による鉄道へのモーダルシフトの強力な促進と輸送の効率化の推進を図る。
(1)貨物駅・ネットワークの災害対応能力を含む機能強化の促進 (幹線鉄道等活性化事業費補助) 令和5年度補正予算 国費:592百万円の内数 (鉄道整備等基礎調査委託費等) 令和5年度補正予算 国費:5,800百万円の内数		67の内数	20の内数
(2)鉄道へのモーダルシフトの強力な促進と輸送の効率化の推進 (幹線鉄道等活性化事業費補助) 令和5年度補正予算 国費:592百万円の内数 (鉄道整備等基礎調査委託費等) 国費:246百万円の内数 (モーダルシフト加速化緊急対策事業) 令和5年度補正予算 国費:5,800百万円の内数		67の内数	20の内数
<b>3. 鉄道のスマート化を促進するためのDXの推進</b> (デジタル技術を活用した省力化システムの調査) (鉄道技術開発費補助金(一般鉄道技術開発)) 令和5年度補正予算 国費:113百万円の内数		57の内数	28の内数
			①輸送力の増強、積替え円滑化のための貨物駅の施設整備等の加速化 貨物鉄道輸送においては、これまで12tの小型コンテナを中心に取扱ってきたが、鉄道へのモーダルシフトを強力に促進するためには、大型で10tトラックからの積替えが容易な「31tコンテナ」の取扱いを拡大していく必要がある。このため、輸送需要が高まるが見込まれる貨物駅において、コンテナホームの拡幅等の施設整備等を行い、貨物鉄道の輸送力増強を図る。 また、物流総合効率化法に基づきモーダルシフトの認定を受けた事業について、大型コンテナ等の導入経費を支援する。 ②国際海上コンテナの鉄道輸送拡大への対応 国際海上コンテナ(40ft)については、現状ではほぼトラックにより陸上輸送されているが、モーダルシフトを強力に促進するためには、鉄道を活用した海陸一貫輸送を拡大することが重要である。 このため、国際海上コンテナの鉄道輸送拡大に向けて、その輸送ニーズや、背丈の高い国際海上コンテナがトンネル等を安全に通行するための方策等の課題について、調査を行う。 ③新幹線による貨物輸送拡大の可能性に関する調査 新幹線による貨物輸送については、一部の新幹線において実施されているところであるが、更なる拡大可能性を検証する。  鉄道事業は、運転士、駅係員、保守係員など多くの現場職員によって支えられており、近年のコロナ禍の経験を踏まえ、感染症拡大時にも運行を維持し、さらには将来の労働力不足時代でも鉄道事業を継続できるよう、デジタル技術を活用した現場業務の省力化・効率化に資する技術開発を推進する。  例:鉄道車両における屋根上検査業務の効率化に向けた画像解析手法の開発 例:鉄道自動運転の導入促進に向けた要素技術開発

区 分	事業費		事業概要等
	事業費	国費	
<b>4. 鉄道の技術開発・普及促進</b> (1) 鉄道技術開発(一般鉄道技術開発) (鉄道技術開発費補助金(一般鉄道技術開発)) 令和5年度補正予算 国費:113百万円の内数  (2) 鉄道技術開発・普及促進制度 (技術研究開発委託費(鉄道技術開発・普及促進制度)) 令和5年度補正予算 国費:113百万円の内数	57の内数	28の内数	鉄道技術開発を促進し技術水準の向上を図ることを目的として、①新技術の鉄道への応用に係る基礎的、基盤的技術開発、②安全対策に係る技術開発、③環境性能向上に資する技術開発、への支援を行う。  例: 早期運転再開に向けた鉄道沿線地震動分布の把握手法の開発
<b>V. 鉄道システム・技術の海外展開</b>	57の内数	28の内数	鉄道事業者のニーズはあるが民間主導では開発が進まない技術開発、社会的要請が高く、鉄道業界に広く展開することが望まれる技術、特に経営の厳しい地方鉄道での導入が求められている技術など、国が主体的に関与すべきものについての技術開発及びその技術の普及を進める。  例: 無線通信技術の活用により信号機などの地上設備の削減を可能とする地方鉄道向け無線式列車制御システムの開発
		1,743の内数	現在、多くの国が国家プロジェクトとして鉄道整備を積極的に検討、推進しており、鉄道関連産業については、海外市場において大きな成長が見込まれている。 鉄道分野をはじめとするインフラシステム輸出は、「経済財政運営と改革の基本方針2023」(令和5年6月16日閣議決定)、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023 改訂版・成長戦略等のフォローアップ」(令和5年6月16日閣議決定)等に掲げる重要な施策の1つとして位置付けられており、我が国鉄道技術の継承・発展及び鉄道関連産業の国際競争力向上・拡大を図り、我が国の経済成長を促進するために極めて重要である。 これまでも、相手国政府への働きかけ等に取り組み、その結果として、高速鉄道については、2023年6月に台湾高速鉄道車両調達事業において我が国企業が車両(144両)を受注したほか、インドのムンバイ～アーメダバード間高速鉄道への新幹線システムの整備に向けた取組を着実に進めている。また、都市鉄道についても、2022年11月には、フィリピン南北通勤鉄道事業において我が国企業が鉄道システムを受注したほか、バングラデシュでは、我が国企業が車両を受注したバングラデシュダッカ都市交通整備事業6号線が同年12月に続き、2023年11月に部分開業するなどの成果を上げているところである。 今後も、川上の段階から案件発掘・形成をさらに進めるとともに、官民連携によるトップセールス、株式会社海外交通・都市開発事業支援機構等を通じたファイナンス面での支援、我が国鉄道技術・規格の国際標準化対応や技術基準策定支援等に一層強力に取り組む。

令和6年1月公表 国土交通省鉄道局「令和6年度 鉄道局関係予算概要」より抜粋掲載

## 令和6年度 鉄道局関係予算 総括表

### 1. 鉄道局関係予算 事業費・国費総括表

(単位:百万円)

区 分	事業費			国 費			令和5年度 補正予算額 (E)	令和6年度 補正予算額 +5年度補正 (F=C+E)	倍率 (F/D)	備 考
	令和6年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	倍率 (A/B)	令和6年度 予算額 (C)	前年度 予算額 (D)	倍率 (C/D)				
<b>【公共事業関係費】</b>										
[整備新幹線]										
1. 整備新幹線整備事業費補助	227,500	194,000	1.17	80,372	80,372	1.00	-	80,372	1.00	
[都市・幹線鉄道]										
2. 都市鉄道利便増進事業費補助	80,317	61,915	1.30	22,822	22,822	1.00	8,937	31,759	1.39	
3. 都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)	4,200	7,971	0.53	1,400	6,736	0.21	-	1,400	0.21	
4. 幹線鉄道等活性化事業費補助	55,019	31,948	1.72	13,864	8,050	1.72	1,664	15,528	1.93	
5. 幹線駅総合改善事業費補助	67	69	0.97	20	23	0.87	592	612	26.61	
6. 鉄道駅総合改善事業費補助	6,070	5,456	1.11	2,101	2,055	1.02	84	2,185	1.06	
7. 鉄道防災事業費補助	1,466	1,466	1.00	923	923	1.00	-	923	1.00	
7. 鉄道施設総合安全対策事業費補助	13,495	15,005	0.90	4,514	5,035	0.90	6,597	11,111	2.21	
小 計	307,817	255,915	1.20	103,194	103,194	1.00	8,937	112,131	1.09	
[災害復旧]										
8. 鉄道施設災害復旧事業費補助	4,000	3,940	1.02	1,000	985	1.02	54	1,054	1.07	
小 計	4,000	3,940	1.02	1,000	985	1.02	54	1,054	1.07	
<関連事項> 社会資本整備総合交付金(地域公共交通再構築事業)										
<b>【その他事項経費】</b>										
1. 鉄道技術開発費補助金	67	95	0.71	33	47	0.70	138	171	3.61	
2. 技術研究開発委託費	-	-	-	20	23	0.87	452	472	20.49	
3. 整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金	1,603	1,538	1.04	1,603	1,538	1.04	80	1,683	1.09	
・北陸新幹線事業推進調査	1,435	1,235	1.16	1,435	1,235	1.16	-	1,435	1.16	
4. 鉄道整備等基礎調査委託費等	-	-	-	246	294	0.84	-	246	0.84	
5. 経済協力調査委託費	-	-	-	255	255	1.00	-	255	1.00	
6. その他	-	-	-	43	43	0.99	-	43	0.99	
小 計	1,669	1,633	1.02	2,200	2,201	1.00	670	2,870	1.30	
合 計	313,486	261,488	1.20	106,394	106,380	1.00	9,661	116,055	1.09	
< 関連事項 > 地域公共交通確保維持改善事業				21,405の内数	22,192の内数	-	31,854の内数	-	-	
モーダルシフト加速化緊急対策事業				-	-	-	5,800の内数	-	-	
地域における受入環境整備促進事業				1,374の内数	1,643の内数	-	24,355の内数	-	-	
公共交通利用環境の革新等				500の内数	1の内数	-	-	-	-	
鉄道脱炭素施設等の整備促進				1,495の内数	2,188の内数	-	-	-	-	

### 2. 鉄道局関係 財政投融资計画総括表

区 分	事業費		
	令和5年度 (A)	前年度 (B)	倍率 (A/B)
【機関名】 鉄道建設・運輸施設整備支援機構	21,700	14,600	1.49

(注)

- 【その他事項経費】の小計は、旅費、庁費類の一般事務費等を含んでいない。
- 端数処理により、計は一致しない場合がある。
- 財政投融资計画要求は、鉄道建設・運輸施設整備支援機構の鉄道整備に係る業務分である。

# 総務省

## 令和6年度 地方債計画計上額（交通事業）

（単位：億円）

項目	年度		増(△)減 B-A
	令和5年度 計画額 (A)	令和6年度 計画額 (B)	
・地下鉄等分	1,235	1,168	△ 67
・第三セクター鉄道事業分	123	128	5
・地下鉄事業資本費平準化債	19	105	86
・地下鉄事業特例債	91	72	△ 19
・資本費負担緩和債	55	29	△ 26
・地下鉄経営健全化出資債	0	0	0
・自動車運送事業等(旧一般交通事業)	184	206	22
・脱炭素化推進事業	11	53	42
・公営企業施設等整理債	0	0	0
・公営企業会計適用債	1	2	1
<b>交通事業 合計</b>	<b>1,719</b>	<b>1,763</b>	<b>44</b>

(注1) 平成18年度地方債計画から都市高速鉄道事業及び一般交通事業を統合して交通事業としている。

(注2) 計画額については当初の計画額

(注3) 経営改善実行計画に基づいて経営改善に取り組む事業に係る資金不足額及び経営改善の実施に要する経費に対して発行する経営改善推進事業についても同意等を予定

## 資金区分

（単位：億円）

区分	財融	機構	市場	銀行等	計
令和5年度	123	271	934	391	1,719
令和6年度	118	265	999	381	1,763

---

# 資 料

---

- 地下鉄営業路線の現況
- 三大都市圏内交通機関別旅客輸送人員の推移
- 東京地下鉄・大阪市高速電気軌道・8都市公営地下鉄年度別事業者別輸送人員の推移
- 東京地下鉄・大阪市高速電気軌道・8都市公営地下鉄年度別営業キロの推移
- 一日当たりの輸送人員の推移（平成30年度～令和5年度）

◎地下鉄営業路線の現況

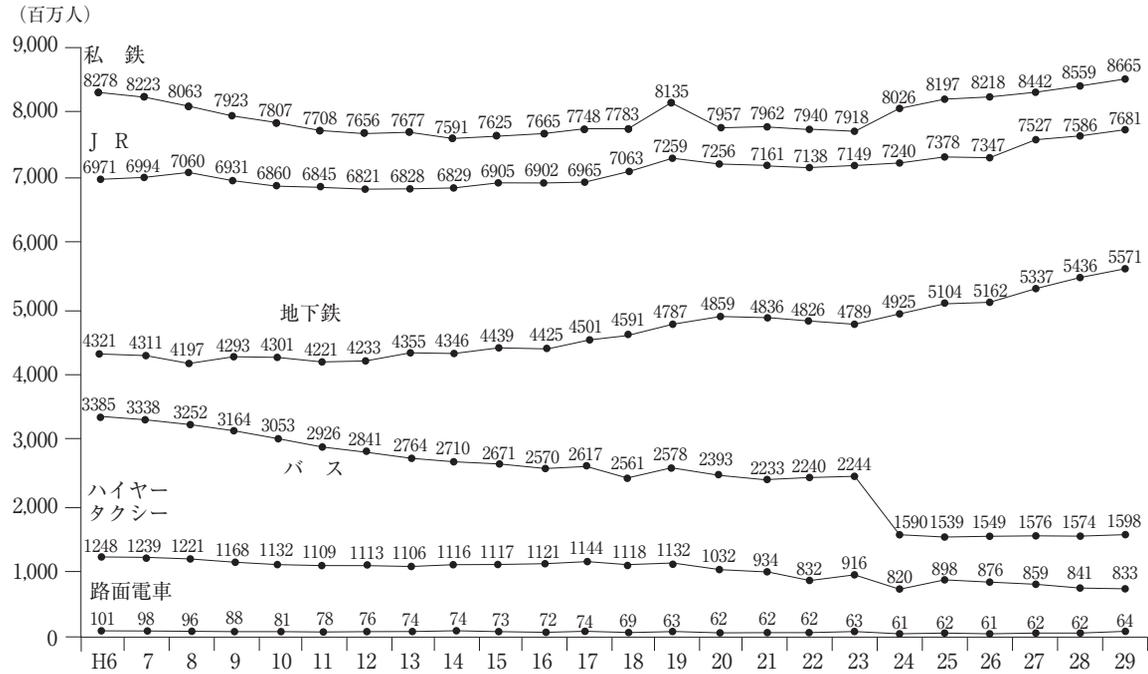
(令和6年4月1日現在)

都市名	企業者名	地下鉄営業キロ			地下鉄への乗り入れキロ				
		路線名	区間	営業キロ	路線名	区間	乗り入れキロ		
札幌市	札幌市交通局	南北線(1)	麻生～真駒内	14.3					
		東西線(2)	宮の沢～新さっぽろ	20.1					
		東豊線(3)	東町～福住	13.6					
	計			48.0					
仙台市	仙台市交通局	南北線	泉中央～宮沢	14.8					
		東西線	八木山動物公園～荒井	13.9					
	計			28.7					
東京 その他	東京地下鉄(株)	日比谷線(2)	北千住～中目黒	20.3					
		有楽町線(3)	浅草～赤谷	14.2					
		丸ノ内線(4)	池袋～茗荷谷	24.2					
			中野坂上～方南町	3.2					
		東西線(5)	中野～西船橋	30.8					
		南北線(7)	目黒～赤羽岩淵	21.3	埼玉高速鉄道線	赤羽岩淵～浦和美園	14.6		
		有楽町線(8)	和光市～新木場	28.3					
		千代田線(9)	綾瀬～代々木上原	21.9					
			北綾瀬～綾瀬	2.1					
		半蔵門線(11)	渋谷～有明	16.8					
		副都心線(13)	小竹向原～渋谷	11.9	みなとみらい線	横浜～元町・中華街	4.1		
			小計	195.0	小計	18.7			
		東京 その他	東京都交通局	浅草線(1)	押上～西馬込	18.3			
三田線(6)	目黒～西高島平			26.5					
新宿線(10)	新宿～本八幡			23.5					
大江戸線(12)	都庁～光が丘			40.7					
小計	109.0								
埼玉高速鉄道(株)	埼玉高速鉄道線	赤羽岩淵～浦和美園	14.6	南北線(メ)	目黒～赤羽岩淵	21.3			
	小計	14.6	小計	21.3					
東京 その他	東日本旅客鉄道(株)	総武線	品川～両国	11.6	東西線(メ)	中野～西船橋	30.8		
		横須賀線	東京～潮見	5.4	千代田線(メ)	綾瀬～代々木上原	21.9		
		京葉線	東京～新見	5.4	新木場～大崎	12.2			
	小計	17.0	小計	64.9					
東京 その他	東急電鉄(株)	田園都市線	渋谷～二子玉川	9.4	副都心線(メ)	渋谷～和光市	20.2		
					半蔵門線(メ)	渋谷～押上	16.8		
					南北線(メ)	21.3			
					埼玉高速鉄道線	赤羽岩淵～浦和美園	14.6		
					三田線(都)	目黒～西高島平	26.5		
					みなとみらい線	横浜～元町・中華街	4.1		
			小計	9.4	小計	103.5			
		東京 その他	小田急電鉄(株)				千代田線(メ)	代々木上原～北綾瀬	24.0
							小計	24.0	
		東京 その他	東武鉄道(株)	日比谷線(メ)	北千住～中目黒	20.3			
有楽町線(メ)	和光市～新木場			28.3					
副都心線(メ)	和光市～渋谷			20.2					
半蔵門線(メ)	渋谷～押上			16.8					
	南北線(メ)			21.3					
	埼玉高速鉄道線			赤羽岩淵～浦和美園	14.6				
	三田線(都)			目黒～西高島平	26.5				
	みなとみらい線			横浜～元町・中華街	4.1				
	小計			89.7					
	小計			24.0					
東京 その他	京成電鉄(株)	京成上野～日暮里	1.4	浅草線(都)	押上～西馬込	18.3			
		京浜東北線(株)	品川～東船橋	1.2	浅草線(都)	押上～西馬込	18.3		
		芝山鉄道(株)	浅草線(都)	押上～西馬込	18.3				
		京王電鉄(株)	新宿～幡ヶ谷	2.7	浅草線(都)	押上～西馬込	18.3		
					新宿線(都)	新宿～本八幡	23.5		
			小計	96.7					
		東京 その他	西武鉄道(株)	西武有楽町線	小竹向原～練馬	2.6	有楽町線(メ)	小竹向原～新木場	20.0
							副都心線(メ)	小竹向原～渋谷	11.9
			小計	2.6	小計	36.0			
		東京 その他	東武高速鉄道(株)				東西線(メ)	中野～西船橋	30.8
東京 その他	東京臨海高速鉄道(株)	りんかい線	新木場～大崎	12.2					
	小計	12.2	小計	30.8					
	計	365.1		485.6					
横浜	横浜市交通局	ブルーライン	関内～湘南台	19.7					
		ブルーライン	関内～あざみ野	20.7					
		グリーンライン	日吉～中山	13.0					
			小計	53.4					
			小計	4.1	副都心線(メ)	渋谷～和光市	20.2		
横浜	相模鉄道(株)				南北線(メ)	21.3			
					有楽町線(メ)	8.3			
					副都心線(メ)	11.9			
					三田線(都)	26.5			
					埼玉高速鉄道線	14.6			
					小計	82.6			
			小計	57.5	小計	102.8			

(注) 1. 括弧つき数字は、当該路線の番号(運輸政策審議会旧都市交通審議会の答申上の路線番号)を示す。  
 2. 地下鉄への乗り入れ路線については、括弧内に、当該路線の地下鉄事業者名(略称)を示す。  
 3. (株)OTSは、(株)大阪港トランスポートシステムの略称である。  
 4. OMIは、大阪市高速電気軌道(株)(大阪メトロ)の略称である。

都市名	企業者名	地下鉄営業キロ			地下鉄への乗り入れキロ			
		路線名	区間	営業キロ	路線名	区間	乗り入れキロ	
名古屋	名古屋市交通局	東山線(1)	高畑～錦が丘	20.0				
		名港線	金山～名古屋港	6.0				
		鶴舞線(3)	上小田井～赤池	20.4				
		名城線	ナゴヤドーム前矢田 ～ナゴヤドーム前矢田	28.4				
		桜通線(6)	大園通～徳重	16.1				
		上飯田線	平安通～上飯田	0.8	小牧線(名)	上飯田～味鋺	2.3	
		小計		93.3	小計	2.3		
名古屋鉄道(株)	瀬戸線小牧線	栄町～東大手	1.5	鶴舞線(市)	上小田井～赤池	20.4		
		上飯田線(市)	2.3	上飯田線(市)	平安通～上飯田	0.8		
		小計	3.8	小計		21.2		
	計			97.1		21.2		
京都	京都市交通局	烏丸線	国際会館～竹田	13.7				
		東西線	太秦天神川～六地蔵	17.5				
			小計	31.2				
		阪急電鉄(株)	京都本線	西院～河原町	3.8			
			小計	3.8				
京阪電気鉄道(株)	京阪大津線	出町柳～七条	4.6	東西線(市)	御陵～太秦天神川	8.8		
		京阪本線						
		小計	4.6	小計		8.8		
近畿日本鉄道(株)	京都線			烏丸線(市)	竹田～国際会館	13.7		
		小計		小計		13.7		
	計			39.6		22.5		
大阪	大阪市高速電気軌道(株)	御堂筋線(1)	江坂～中百舌鳥	24.5				
		谷町線(2)	大日～八尾南	28.1				
		四つ橋線(3)	西梅田～住之江公園	11.4				
		中央線(4)	コスモスクエア～長田	17.9				
		千日前線(5)	野田阪神～南茨	12.6				
		堺筋線(6)	天神橋筋六丁目 ～天下茶屋	8.5				
		長堀鶴見緑地線(7)	大正～門真南	15.0				
			今里筋線(8)	升高野～今里	11.9			
			小計	129.9				
		(株)OTS	中央線(4)	大阪港～コスモスクエア	2.4			
		北大阪急行電鉄(株)	御堂筋線(OM)	江坂～中百舌鳥	24.5			
		阪急電鉄(株)	堺筋線(OM)	天神橋筋六丁目～天下茶屋	8.5			
		阪神電気鉄道(株)	阪神なんば線	西九条～大阪難波	3.8			
近畿日本鉄道(株)	奈良線	難波～上本町六丁目	2.0	中央線(OM)	コスモスクエア～長田	17.9		
			13.0	阪神なんば線	西九条～大阪難波	3.8		
京阪電気鉄道(株)	京阪線	淀屋橋～天満橋	2.3					
	中之島線	天満橋～中之島	3.0					
関西高速鉄道(株)	JR東西線	京橋～尼崎	12.6					
西日本旅客鉄道(株)				JR東西線	京橋～尼崎	12.6		
	小計	25.1	小計	67.3				
	計			156.0		67.3		
神戸	神戸市交通局	臨神線(1)	新長田～名谷	5.7				
		西神延福線(3)	名谷～西神中央	9.4				
		山手線(2)	新長田～新神戸	7.6				
		北神線	新神戸～谷上	7.5				
		海岸線	新長田～三宮・花時計前	7.9				
	小計	38.1	小計					
阪神電気鉄道(株)	本線	岩屋～元町	3.2	神戸高速(株)東西線	元町～西代	5.0		
	小計	3.2	小計		5.0			
神戸高速鉄道(株)	南北線	湊川～新開地	0.4					
	東西線	西代～高速神戸 高速神戸～三宮 ～元町	3.5 2.2 1.5					
	小計	7.6						
山陽電気鉄道(株)				神戸高速(株)	西代～神戸元町	5.7		
				東西線	高速神戸～元町	1.5		
神戸電鉄(株)				神戸高速(株)	湊川～新開地	0.4		
阪急電鉄(株)				神戸高速(株)	神戸高速～三宮	2.8		
北神急行電鉄(株)				東西線				
				小計		10.4		
	計			48.9		15.4		
広島	広島高速交通(株)	広島新交通1号線	本通～飛行前	0.3				
福岡	福岡市交通局	空港線(1)	姪立～福岡空港	13.1				
		箱崎線(2)	中洲川端～貝塚	4.7				
		七隈線(3)	根本～博多	13.6				
		小計	31.4					
九州旅客鉄道(株)				空港線(市)	姪立～福岡空港	13.1		
	小計	31.4		小計	13.1			
	総計			871.6		647.6		

### 三大都市圏内交通機関別旅客輸送人員の推移

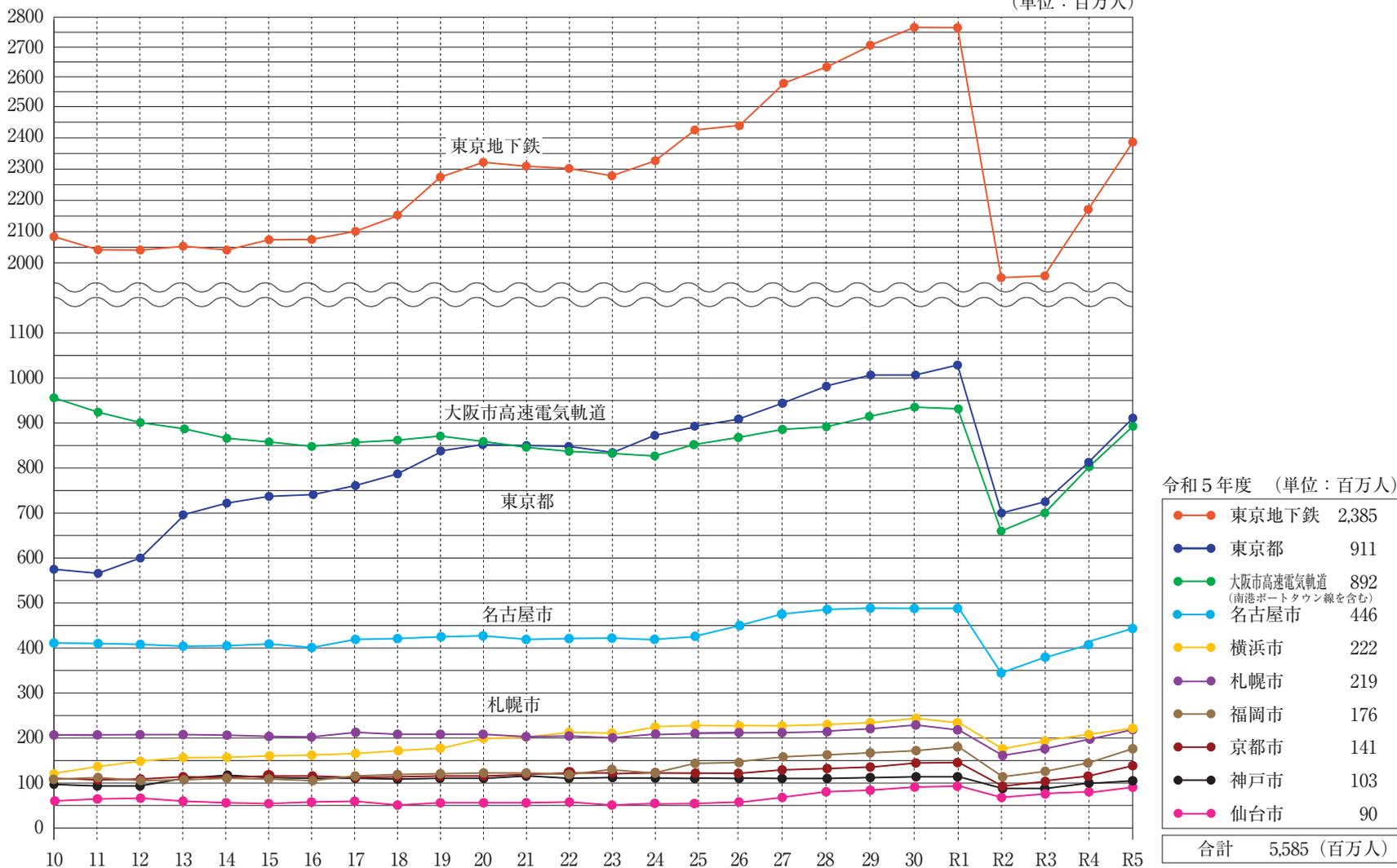


資料：2019（平成31・令和元）年度版「都市・地域交通年報」（一財）運輸総合研究所

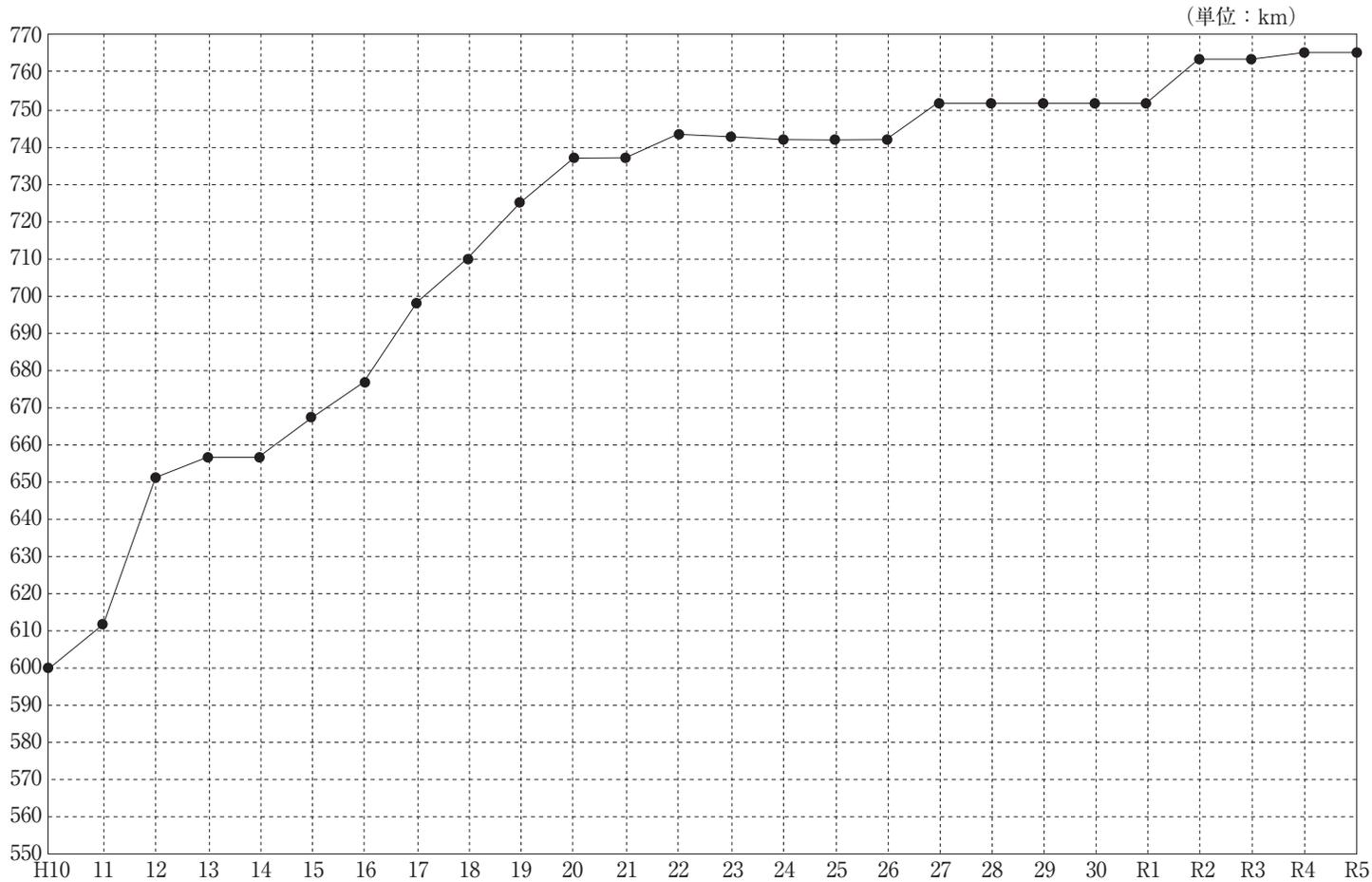
（注）三大都市圏とは首都交通圏、中京交通圏及び京阪神交通圏をいう。

# 東京地下鉄・大阪市高速電気軌道・8都市公営地下鉄年度別事業者別輸送人員の推移

(単位：百万人)



# 東京地下鉄・大阪市高速電気軌道・8都市公営地下鉄年度別営業キロの推移



合計 765.9

## 営業キロ (単位：km)

東京地下鉄	195.0
東京都	109.0
大阪市高速電気軌道 (南港ポートタウン線を含む)	137.8
名古屋市	93.3
横浜市	53.4
札幌市	48.0
福岡市	31.4
京都市	31.2
神戸市	38.1
仙台市	28.7

地下鉄事業者一日当たり路線別平均輸送人員の推移  
(令和元年度～令和5年度)

(令和6年4月1日現在)

地下鉄事業者	路線名	令和元年度 (2019) (A)千人	令和2年度 (2020) (B)千人	伸び率(%) (B/A×100-100)	令和3年度 (2021) (C)千人	伸び率(%) (C/B×100-100)	令和4年度 (2022) (D)千人	伸び率(%) (D/C×100-100)	令和5年度 (2023) (E)千人	伸び率(%) (E/D×100-100)
東京メトロ	銀座線	1,113	668	-40.0	696	4.2	822	18.1	930	13.1
	丸ノ内線	1,398	913	-34.7	964	5.6	1,104	14.5	1,220	10.5
	日比谷線	1,214	815	-32.9	851	4.4	974	14.5	1,074	10.3
	東西線	1,440	998	-30.7	1,038	4.0	1,158	11.6	1,250	7.9
	千代田線	1,323	902	-31.8	925	2.5	1,038	12.2	1,130	8.9
	有楽町線	1,166	789	-32.3	826	4.7	932	12.8	1,006	7.9
	副都心線	601	400	-33.4	431	7.7	487	13.0	527	8.2
	半蔵門線	1,070	685	-36.0	733	7.0	849	15.8	926	9.1
	南北線	583	373	-36.0	392	5.1	448	14.3	491	9.6
	東京メトロ(一日平均)	7,555	4,985	-34.0	5,216	4.6	5,950	14.1	6,516	9.5
東京都	浅草線	768	505	-34.2	522	3.4	600	14.9	683	13.8
	三田線	678	459	-32.3	483	52.3%	548	13.5	607	10.8
	新宿線	794	555	-30.1	584	5.2	648	11.0	704	8.6
	大江戸線	978	654	-33.1	677	3.5	750	10.8	836	11.5
	都営(一日平均)	2,832	1,918	-32.3	1,997	4.1	2,242	12.3	2,488	11.0
	横浜市営(一日平均)	543	399	-26.5	438	9.8	479	9.4	499	4.2
大阪メトロ	ブルーライン	148	105	-29.1	116	10.5	127	9.5	132	3.9
	グリーンライン	664	484	-27.1	533	10.1	582	9.2	608	4.5
	関東(一日平均)	11,051	7,387	-33.2	7,746	4.9	8,774	13.3	9,612	9.6
	御堂筋線	1,185	849	-28.4	900	6.0	1,062	18.0	1,177	10.8
	谷町線	510	393	-22.9	415	5.6	463	11.6	494	6.7
	四つ橋線	272	199	-26.8	205	3.0	228	11.2	247	8.3
	中央線	329	249	-24.3	259	4.0	290	12.0	318	9.7
	千日前線	195	147	-24.6	155	5.4	174	12.3	192	10.3
	堺筋線	348	242	-30.5	255	5.4	288	12.9	319	10.8
	長堀鶴見緑地線	173	131	-24.3	140	6.9	161	15.0	172	6.8
京都府	今里筋線	67	54	-19.4	57	5.6	63	10.5	66	4.8
	南港ポートタウン線	74	49	-33.8	54	10.2	61	13.0	69	13.1
	大阪メトロ(一日平均)	2,540	1,822	-28.3	1,925	5.7	2,216	15.1	2,435	9.9
	烏丸線	253	163	-35.6	204	25.2	246	20.6	277	12.6
	東西線	147	104	-29.3	132	26.9	150	13.6	161	7.3
	京都市営(一日平均)	400	267	-33.3	295	10.5	348	18.0	385	10.6
神戸市	北神・山手・西神・西神延伸線	261	222	-14.9	246	10.8	270	9.8	284	5.2
	海岸線	51	42	-17.6	43	2.4	45	4.7	48	6.7
	神戸市営(一日平均)	311	264	-15.1	262	-0.8	285	8.8	283	-0.7
近畿圏	関西(一日平均)	3,251	2,353	-27.6	2,527	7.4	2,849	12.7	3,103	8.9
名古屋市	東山線	604	420	-30.5	466	11.0	518	11.2	550	6.2
	名城線・名港線	631	439	-30.4	482	9.8	535	11.0	568	6.2
	鶴舞線	298	219	-26.5	241	10.0	260	7.9	272	4.6
	桜通線	289	211	-27.0	228	8.1	250	9.6	264	5.6
	上飯田線	34	26	-23.5	28	7.7	30	7.1	31	3.3
	名古屋市営(一日平均)	1,332	949	-28.8	1,041	9.7	1,148	10.3	1,219	6.2
	南北線	231	159	-31.2	170	6.9	201	18.2	219	9.0
札幌市	東西線	239	182	-23.8	195	7.1	221	13.3	237	7.2
	東豊線	150	105	-30.0	113	7.6	131	15.9	141	7.6
	札幌市営(一日平均)	620	446	-28.1	479	7.4	552	15.2	597	8.2
仙台市	南北線	195	151	-22.6	160	6.0	174	8.7	187	7.5
	東西線	80	59	-26.3	66	11.9	75	13.6	83	10.7
	仙台市営(一日平均)	250	191	-23.6	205	7.3	227	10.7	246	8.4
福岡市	空港線	367	229	-37.6	254	10.9	307	20.9	321	4.6
	箱崎線	36	27	-25.0	28	3.7	32	14.3	35	9.4
	七隈線	93	62	-33.3	70	12.9	80	14.3	126	57.5
	福岡市営(一日平均)	473	304	-35.7	336	10.5	399	18.8	482	20.8
	地下鉄	全国(一日平均)	16,977	11,630	-31.5	12,334	6.1	13,949	13.1	15,259

※1 出典元：日本地下鉄協会「地下鉄事業の現状」

※2 路線別の平均輸送人員には乗り継ぎ分を含む

※3 各項目の合計値は必ずしも一致しない

大手民鉄事業者一日当たり平均輸送人員の推移  
(令和元年度～令和5年度)

民営事業者	路線名	令和元年度 (2019) (A)千人	令和2年度 (2020) (B)千人	伸び率(%) (B/A×100-100)	令和3年度 (2021) (C)千人	伸び率(%) (C/B×100-100)	令和4年度 (2022) (D)千人	伸び率(%) (D/C×100-100)	令和5年度 (2023) (E)千人	伸び率(%) (E/D×100-100)
東武鉄道		2,523	1,855	-26.5	2,014	8.6	2,187	8.6	2,293	4.8
西武鉄道		1,813	1,294	-28.6	1,392	7.6	1,532	10.0	1,610	5.1
京成電鉄		802	572	-28.7	617	8.0	688	11.5	752	9.3
京王電鉄		1,842	1,235	-33.0	1,373	11.2	1,518	10.5	1,599	5.4
小田急電鉄		2,096	1,439	-31.3	1,591	10.5	1,777	11.7	1,873	5.4
東急電鉄		3,252	2,208	-32.1	2,458	11.3	2,709	10.2	2,883	6.4
京浜急行電鉄		1,321	918	-30.5	987	7.6	1,108	12.3	1,187	7.1
相模鉄道		640	479	-25.2	504	5.3	545	8.2	589	7.9
首都圏		14,292	9,998	-30.0	10,936	9.4	12,065	10.3	12,786	6.0
近畿日本鉄道		1,567	1,168	-25.5	1,249	6.9	1,374	10.0	1,430	4.1
南海電鉄		656	488	-25.6	501	2.6	558	11.4	595	6.7
京阪電鉄		803	570	-29.0	601	5.4	667	11.1	713	6.8
阪急電鉄		1,794	1,329	-25.9	1,399	5.3	1,566	11.9	1,638	4.6
阪神電鉄		674	503	-25.4	532	5.8	599	12.6	644	7.5
近畿圏		5,495	4,058	-26.1	4,282	5.5	4,764	11.3	5,020	5.4
名古屋鉄道		1,079	812	-24.8	862	6.3	934	8.3	988	5.8
西日本鉄道		290	217	-25.3	231	6.4	253	9.9	271	7.1
大手15社総計	東京メトロを除く	21,158	15,085	-28.7	16,311	8.1	18,017	10.5	19,065	5.8

※出典元：日本民営鉄道協会HP(大手民鉄16社 2024年3月期 鉄軌道事業旅客輸送実績)資料より抜粋掲載

# 案内図



発行 令和6年10月

一般社団法人 日本地下鉄協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-10-12  
内神田すいすいビル 9階  
TEL.03-5577-5182(代) FAX.03-5577-5187  
E-mail : subway@jamoto.or.jp  
URL : <http://www.jamoto.or.jp>



東京地下鉄株式会社



大阪市高速電気軌道株式会社



東京都交通局



名古屋市交通局



札幌市交通局



横浜市交通局



神戸市交通局



京都市交通局



福岡市交通局



仙台市交通局



東日本旅客鉄道株式会社



東急電鉄株式会社



小田急電鉄株式会社



阪急電鉄株式会社



東武鉄道株式会社



京成電鉄株式会社



阪神電気鉄道株式会社



京浜急行電鉄株式会社



近畿日本鉄道株式会社



京阪電気鉄道株式会社



名古屋鉄道株式会社



京王電鉄株式会社



西武鉄道株式会社



山陽電気鉄道株式会社



北大阪急行電鉄株式会社



神戸電鉄株式会社



北総鉄道株式会社



埼玉高速鉄道株式会社



広島高速交通株式会社



東葉高速鉄道株式会社



横浜高速鉄道株式会社

人にやさしく環境にやさしい  
安全で快適な鉄道を利用しましょう

鉄道は、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の排出量が  
自家用乗用車の約 16%、  
バスの約 28%と非常に少なく、  
人にやさしく、環境にやさしい乗り物です。

日本の地下鉄は、1927年（昭和2年）に開業。今年で97周年。



一般社団法人 日本地下鉄協会

